

第2章



復旧・復興トピックス

2.国・宮城県・土木部の三年目の歩み

平成25年4月	
国・宮城県全体のトピックス	土木部のトピックス
1日：「みやぎ鎮魂の日を定める条例」施行 3月11日を東北地方太平洋沖地震の犠牲者に対する追悼の意を表し、記憶を風化させることなく後世に伝え、復興を誓う日として、みやぎ鎮魂の日を定める条例が施行されました。 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン開幕 平成25年4月1日から6月30日まで開催しました。  2日：仮設住宅の入居期間の1年延長について国から通知 災害公営住宅等の恒久住宅の整備や自宅再建等になお時間を要する状況を踏まえ、既に供与対象の被災世帯のない3町を除く県内32市町村を対象として、供与期間を現在の3年間に加えて更に1年間延長することを国と協議していました。 10日：ハワイアン航空CEOの知事表敬訪問 ハワイアン航空による「仙台ーホノルル線」が、平成25年6月26日から新規就航されることに伴い、知事を表敬訪問されました。ハワイアン航空CEO（最高経営責任者）のマーク・ダンカリー氏は、「東日本大震災には衝撃を受けました。復興の一助となるようアメリカ本土とハワイの人々に宮城・東北の魅力を伝えたい。」と述べました。  19日：復興整備協議会を開催 石巻市の復興整備協議会において、防災集団移転促進事業等に関する協議を行いました。 23日：県が申請した「石巻市桃浦地区水産業復興特区」の認定 今回の認定により、地元漁業者主体の法人であります「桃浦かき生産者合同会社」が、復興特別区域法及び漁業法により、第一順位として特定区域漁業の免許を取得できることとなりました。	1日：平成25年度自治法派遣職員へ辞令伝達式 29都道県から土木部に派遣された112名の自治法派遣職員へ4月1日付けで村井知事から辞令が交付され、遠藤土木部長から伝達されました  1日：県内初の災害公営住宅入居開始 1日：仙台港多賀城地区緩衝緑地一部再開園 12日：塩竈市北浜地区の土地区画整理事業認可書交付式 仙塩地区で初の被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可され、事業認可書が、宮城県遠藤土木部長から佐藤塩竈市長へ、直接手渡されました。交付式には、北浜地区まちづくり懇談会の地域代表者様にも御臨席いただきました。  12日：復興推進計画（応急仮設建築物活用事業）の認定 県と10市町が共同申請した復興推進計画（10市町、65件）が内閣総理大臣から認定され、各市町の応急仮設建築物が2年3か月を超え、特定行政庁が1年以内ごとに認めることにより、計画期間まで存続できることになりました。 18日：大規模災害時における橋りょうの応急対策業務の応援に関する協定締結 大規模災害発生時の橋梁に関する被災状況調査等について、日本橋梁建設協会並びにプレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部と協定を締結しました。協定締結により、迅速・確実な被害状況調査が実施され、被害箇所の早期把握、二次災害の防止、早期復旧が可能となる等、災害に伴う道路交通障害の影響を最小限にすることが期待されます。 25日：「災害に強いまちづくり宮城モデル」担当者勉強会を開催 各市町の復興まちづくり担当者を対象に、「災害に強いまちづくり宮城モデル」の概要説明、各市町の取組事例の紹介、事業推進上の課題解決に向けた意見交換などを行いました。

国・宮城県全体のトピックス

12日：安倍総理大臣の県内視察

安倍総理大臣が宮城県を訪れ、女川町の区画整理事業の現場やトレーラーハウス宿泊村、東松島市の航空自衛隊松島基地、防災集団移転促進事業造成工事の現場、仙台市の農地復旧の状況などを視察しました。



14日：ふれあいグリーンキャンペーン緑木の寄贈式

仙台トヨペット株式会社が社会貢献活動として、緑豊かな安らぎある街づくりを目指すため、昭和51年から毎年継続しているもので、これまでに5,770本の緑化木が宮城県に寄贈されています。寄贈された緑化木（アオダモ75本、ヤマザクラ75本の合計150本）は、10月27日に女川町で開催する「みやぎバットの森」植樹祭において、スポーツ少年団や地元の小学生の手で植樹され、大切に育てられます。



15日：ふるさと切手「地方自治法60周年記念シリーズ・宮城県」の発行

地方自治法60周年を記念し、宮城県をモチーフとしたふるさと記念切手が発行されました。宮城県を代表する5つの風景「伊達政宗と慶長遣欧使節船」「栗駒山」「鳴子峡」「仙台七夕まつり」「光のページェント」がデザインされており、手紙を通じて県内外の方々に、宮城県の素晴らしさをPRできるものとなっています。



20日：第3回復興道路会議～宮城県～

東日本大震災からの復興に向けた復興道路等の早期完成を図るため、関係機関が連携して課題解決することを目的として開催されました。各関係機関が進捗状況を説明し、用地取得や遺跡調査等整備に関する課題について、意見交換を行いました。



土木部のトピックス

18日：弘川ダム竣工式を開催

伊里前川総合開発事業の一環として平成4年度に着手した「弘川ダム」が4月26日に試験湛水を終了したことから、竣工式典を開催しました。



21日：貞山運河再生・復興ビジョンを策定

仙台湾沿岸地域の復興において、目標とする姿やそれを実現するための仕組みについて示し、復興のシンボルと誇れる運河群として再構築を図るため「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定・公表しました。



22日：女川港湾口防波堤復旧工事着工

女川湾口防波堤災害復旧工事において、ケーソン据付が開始され本格的な復旧に着手しました。



23日：第8回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催

平成24年度からの定期に行っている被災3県の土木部長会議の第8回目。今回は宮城県で開催し、復旧・復興事業に係る諸課題について議論し、情報を共有しました。



25日：津波防災シンポジウムを開催

「津波防災シンポジウム～地域で育てる津波防災文化～」を開催しました。

群馬大学広域首都圏防災研究センター長・群馬大学理工学研究院教授 片田敏孝氏からは、「3.11東日本大震災の教訓～海と共存する文化を地域に築く」と題し講演いただきました。



28日：宮城県建築物等地震対策推進協議会の開催

県内の建築物等の総合的な地震対策の推進を図る協議会の総会を開催しました。

国・宮城県全体のトピックス

14日：宮城県議会平成25年6月定例会（第341回）が開会（～7/8まで）

宮城県議会の平成25年6月定例会が25日間の日程で開会しました。

17日：「大規模災害復興法」「改正災害対策基本法」成立

大規模災害に対する国や自治体の復旧・復興対応を強化する改正災害対策基本法と大規模災害復興法が成立しました。国や県が被災地からの要請を待たずに物資供給などの復旧活動を代行できるようになりました。

19日：「民活空港運営法」成立

空港の運営を民間委託できるようにする民活空港運営法が参院本会議で成立。着陸料の設定や空港ビル運営など空港全体の経営を民間企業が担えるようになりました。

21日：仙台南部道路引継式を開催

宮城県道路公社が管理する仙台南部道路については、仙台都市圏高速環状ネットワークの一元管理による、均一な料金体系の実現、ETC割引による料金サービスなど、利便性の向上のため、平成25年7月1日をもって東日本高速道路株式会社へ移管されました。

**21日：サントリーホールディングス株式会社からの寄付金目録贈呈式**

サントリーホールディングス株式会社から宮城県に「漁業振興に係る漁船取得等支援のための寄附金（追加分10億円、累計30億円）」の目録が寄贈されました。東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸地域の基幹産業である漁業復興のため、一昨年、昨年に、10億円ずつ寄附金を贈呈されていたところですが、依然として沿岸地域の厳しい状況が続いていることを憂慮し、追加支援としてさらに10億円の寄附金が寄贈されました。

26日：ハワイアン航空「仙台－ホノルル線」新規就航

ホノルル線の新規就航により、仙台空港の国際線は7路線、海外の8都市と結ばれることになりました。

土木部のトピックス

3日：任期付職員へ辞令伝達式

復旧・復興事業を速やかに実施することによる一時的な業務量の増加に伴い、職員の不足が見込まれるため、任期の定めのある土木部任期付職員へ辞令が伝達されました。

**12日：総合防災訓練を実施**

今後も起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」（6月12日）に合わせ県として総合防災訓練を実施しました。



土木部訓練参加者：1, 176名

14日：岩手・宮城内陸地震発生から5年

平成20年6月14日「岩手・宮城内陸地震」の発生から5年が経過しました。駒の湯温泉付近の耕英東地区砂防激特事業が実施中でした。

18日：外貿定期コンテナ航路（韓国航路）の中国延伸

外貿定期コンテナ航路は、中国／韓国航路が3航路・週3便、北米西岸航路が1航路・週1便の計4航路・週4便となり、東北・宮城に立地する荷主企業にとっては、輸出入の選択肢が拡がり、物流コストの削減、国際競争力の強化に資するものと期待されます。

24日：単品スライド条項の運用拡充

生コンクリート類等についても、単品スライドの対象資材として適用を拡充した。

29日：宮城県水防協議会を開催

関係行政機関、水防団体、学識経験者の審議により、今年度の宮城県水防計画が承認されました。



国・宮城県全体のトピックス

11日：防災専門教育アドバイザーキックオフミーティングを開催

東北大学災害科学国際研究所の平川所長をはじめ、出席したアドバイザーの方々と多賀城高等学校防災系学科設置に向けた意見交換を行いました。アドバイザーからは、東日本大震災を踏まえた宮城県らしい防災教育の推進に向けた期待や助言などがありました。



16日：「仙台空港600万人・5万トン実現サポーター会議」キックオフミーティングを開催

国の空港経営改革についての講演の他、ピーチアビエーション(株)の井上 CEO, 株式会社ジェーティービーの加藤部長, 日本通運株式会社の田島部長, 村井知事によるパネルディスカッションを開催し、それぞれの立場から空港等の活性化に向けた活発な意見が交わされました。



29日：安倍総理大臣の県内視察

安倍総理大臣が宮城県を訪れ、石巻市の災害公営住宅、包括ケアセンター、南三陸町の仮設商店街、公立南三陸診療所などを視察しました。

安倍総理大臣が本県を視察されるのは、総理就任後4回目です。

安倍総理大臣は「今までの厳しい状況から、一歩ずつ復興に向けて歩みが始まっていると感じた。しっかりと国として支援していく」と述べ、引き続き復興施策に全力を注ぐ考えを示しました。



31日：県内初の応急仮設住宅団地の解体工事完了（七ヶ浜町）

応急仮設住宅の再編が行われ、応急仮設住宅の解体工事が完了しました。跡地は災害公営住宅が建設される予定です。

土木部のトピックス

5日：仙台港区県営中野1号上屋が竣工

仙台港区の港湾施設である中野1号上屋は、震災で甚大な被害を受けましたが、近隣に移転新築され、供用を開始しました。



9日：平成25年度春季地方ブロック土木部長等会議

東北・北海道ブロックの土木部等部長が山形県の会場に集合し、喫緊の課題等について情報共有を図りました。

18日：宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会を開催

宮城県発注の建設工事の優良施工者及び安全管理に対する取組が優良だった現場代理人を対象に表彰式が行われました。



25日：南三陸町志津川東地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設 安全祈願祭

29日：仙台塩釜港管理・運営協議会・利用促進連絡会議

県・地元自治体、港湾利用者など地域が一丸となって、新たな仙台塩釜港の利用促進に取り組んで行くため協議会及び連絡会議を開催しました。

28日：気仙沼市鹿折南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業着工

気仙沼市とURとの共催による鹿折(ししおり)地区及び南気仙沼地区の復興土地区画整理事業着工式が行われました。



31日：大衡仙台線 小野工区開通式を開催

平成7年度より整備を進めてきた小野工区の、未供用区間1.3kmが開通しました。今回の開通で大和町と仙台市内を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。



国・宮城県全体のトピックス

2日：石巻市開成地区に「包括ケアセンター」が開設

長期化する仮設生活においても尊厳を持って暮らせる事を目的として医療、介護、福祉等の課題を包括的にサポートする包括ケアセンターが開設しました。「地域包括ケアシステム」のモデルとなるよう期待が寄せられています。

23日：東松島市に県内初の大規模太陽光発電所（メガソーラー）が完成

沿岸被災地で県内初の大規模太陽光発電所、奥松島「絆」ソーラーパークが完成しました。年間発電電力量は、一般家庭の約600世帯分に相当します。

**26日：ミス・アース・グアム三浦副知事・遠藤土木部長表敬訪問**

グアム政府観光局日本代表が三浦副知事及び遠藤土木部長を表敬訪問しました。ミス・アース・グアムのサラ・エリザベス・フィラッシュさんは、グアムの観光PR及びユナイテッド航空により運航されている「仙台－グアム線」の利用促進のために来県しました。

**30日：仮設住宅入居期間を4年間に延長**

災害公営住宅等の恒久住宅の整備や自宅再建等になお時間を要する状況を踏まえ、既に供与対象の被災世帯のない七ヶ宿町、川崎町及び色麻町の3町を除く県内32市町村を対象として、供与期間を現在の3年間に加えて更に1年間延長することを国と協議していたところ、平成25年8月30日付で承認が得られました。

31日：第11回港湾感謝祭開催(石巻港区) 砕氷艦「しらせ」

東日本大震災により中止されていた「港湾感謝祭」が3年ぶりに開催され、海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が一般公開されました。



土木部のトピックス

7日：新坂元駅周辺地区 一団地の津波防災拠点市街地形成施設 安全祈願祭**19日～9月6日****自治法派遣職員の継続要請及び震災からの現状報告を実施**

当県土木部、農林水産部の幹部職員が、現在派遣をいただいている都道県を訪問し、これまでの応援に対するお礼と、平成26年度以降の継続派遣要請を実施しました。合わせて、震災からの復興に関する報告会を開催し、多くの方に参加いただきました。

**24日：ハイスクールサミット in 東北開催**

全国21道県から68名の高校生が集まり、東日本大震災からの復興等を踏まえ、「元氣な未来」をメインテーマとしてフォーラムを開催しました。

**21日：仙台塩釜港仙台港区中央公園・湊浜緑地 ネーミングライツ契約締結**

住友スリーエム株式会社と仙台港区にある中央公園・湊浜緑地のネーミングライツの契約を締結しました。

26日：被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

南海トラフ巨大地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

29日：栗原地域事務所管内災害復旧完了

主要地方道古川佐沼線の透川橋災害復旧工事が完了し、栗原地域事務所管内における東日本大震災に伴う復旧事業が全て完了しました。

31日：花刈山BP2号トンネル工事安全祈願祭

国道108号における花刈山2号トンネル工事開始に伴い、安全祈願祭が行われました。2号トンネルは全長1,194mで4号トンネルに次いで2番目の長さです。



国・宮城県全体のトピックス

1日：水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート

3日：いちご団地完成（亶理町，山元町）

亶理山元地域において，いちご産地復興のため復興交付金を活用して整備していた，いちご団地7箇所と選果場が完成しました。9月に作付けし，選果場では11月6日に初出荷しました。



土耕栽培から高設ベンチ方式へ

3日：宮城県議会平成25年9月定例会（第342回）が開会（～10／3まで）

宮城県議会の平成25年9月定例会が31日間の日程で開会しました。

10日：株式会社コバヤシとの立地協定式

宮城県および大和町は，株式会社コバヤシと立地協定を締結しました。株式会社コバヤシは，東京都台東区に本社を置き，納豆，豆腐を始めとする食品容器や，果物などの流通資材，独自の液状コンパウンド材料などを製造販売しているプラスチックの総合企業です。このたび，国内8箇所目となる工場を大和町に建設し，従来のプラスチック製品のほか，トウモロコシのでんぷんを使った新素材の容器を製造します。平成26年6月に建設を着工，平成27年4月の操業開始を目指します。操業時の従業員については，30～50人を雇用する予定です。



20日：2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催決定

利府町にあるグランディ21がサッカー会場の候補になりました。

26日：駐日タイ王国特命全権大使の知事表敬訪問

「仙台－バンコク線」が平成25年12月4日から新規就航することに伴い，宮城の観光をタイ王国内でPRするため，駐日タイ王国特命全権大使が同国のメディアとともに来県し，村井知事を表敬訪問しました。



土木部のトピックス

6日：仙台三本木線混内山工区全面供用

大崎圏域と仙台圏域を結ぶ重要な路線がより安全に通行できるようになりました。



8日～：県内各下水道浄化センターでふれあい感謝祭を開催

県内各地の流域下水道の各浄化センターで「下水道ふれあい祭り」が開催され，キャラクターショーや震災からの復旧過程の紹介，下水道にふれあう各種イベントで賑わいました。

（参加者総数：3,917人）



県南浄化センター



仙塩浄化センター

10日：大型客船「ぱしふいっくびいなす」入港

石巻港区への「ぱしふいっくびいなす」の寄港は2年連続で，乗客は石巻市などを巡るオプションルツアーに参加し，夕方に最終目的地の横浜港に向け出港しました。

13日：復興推進計画（応急仮設建築物活用事業）の変更認定

復興推進計画に応急仮設建築物を10件追加し，必要な字句を修正する変更について，内閣総理大臣から認定されました。（10市町，75件）

19日：大型客船「飛鳥Ⅱ」入港（仙台港区）

27日：慶長使節船ミュージアム 本復旧完了

被災したドック棟の大規模な復旧工事を終え，平成26年11月3日，約2年8ヶ月ぶりに開館しました。冬の風物詩として定着していた，復元船「サン・ファン・パウティスタ号」のライトアップも復活です。



30日～10月4日：災害査定（一次）

7月の豪雨などにより被災した公共土木施設について査定を実施し，県管理分について，29件358,551千円の査定決定額を受けました。

国・宮城県全体のトピックス

1日：「復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会」初会合

宮城県及び石巻市による復興祈念公園の整備が計画されている宮城県石巻市南浜地区を対象に、宮城県及び石巻市と連携して復興祈念公園の基本構想等を検討するため、学識経験者等で構成する有識者委員会を設置し、第1回目の委員会が開催されました。



13日～1月31日

仙台アクセス鉄道のラッピング列車運行

ますます利便性が向上する仙台空港を広くPRし、仙台空港を利用した旅客需要を創すため、仙台空港からの就航都市をイメージしてラッピングした仙台空港アクセス鉄道車両を運行しました。



28日：下増田地区防災集団移転促進事業 起工

北釜地区、広浦地区、杉ヶ袋北地区、杉ヶ袋南地区の4地区から、美田園駅北周辺（下増田字前田、飯塚地内）へ集団移転するための造成工事の起工式が行われました。予定戸数は一般住宅（戸建）70戸 災害公営住宅（戸建）42戸 災害公営住宅（集合）50戸となっています。



29日：県内35市町村と共同申請した「宮城県復興推進計画（公営住宅関係）」の認定

東日本大震災により住宅を失った被災者の災害公営住宅の入居についての収入の基準の緩和及び譲渡処分要件の緩和を目的とした復興推進計画（公営住宅関係）が国に認定されました。



土木部のトピックス

7日：「復興まちづくり事業カルテ」を追加・更新
「復興まちづくり事業カルテ」について、沿岸市町全ての面整備事業を網羅するよう対象地区を拡大するとともに、既作成地区も内容の更新・充実を図りました。



9日：建設発生土利用に係る自治体間協定締結

東日本大震災の復興事業で発生した建設発生土の有効活用を目的とし、七ヶ浜町、塩釜市、仙台土木事務所、仙台塩釜港湾事務所の4団体間で協定を締結しました。七ヶ浜町の防災集団移転促進事業で発生する建設発生土を、仙台塩釜港に陸送後、浦戸諸島の盛土や災害公営住宅の敷地整備等に使用されます。



10日：国道398号 宮前工区が開通

宮前工区は地域に密着した生活道路であり、通学路に指定されているものの、歩道が設置されていないことや、山崎橋は重交通に対応しておらず、線形も悪いことから、交通事故が多発していました。今回、延長850m区間をバイパス化し、歩道・車道幅員の確保、道路線形の改良、橋梁架換を行い道路機能の拡充を図りました。

16日：災害時における民間賃貸住宅の提供等に関する協定を締結

災害発生時において、住宅を滅失した被災者が早期の住宅への入居を可能とするため民間賃貸住宅の空き室情報の提供や入居までの契約事務等に関する基本的事項について（公社）宮城県宅地建物取引業協会、（公社）全日本不動産協会宮城県本部並びに（公社）全国賃貸住宅経営者協会連合会と協定を締結しました。



21日～25日：災害査定（2次）

7月の豪雨により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、26件、161,704千円の査定決定額を受けました。

国・宮城県全体のトピックス

13日～17日：アジア国立公園会議が開催

「第1回アジア国立公園会議」が開催されました。宮城県から、世界に向けて情報発信するとの理念の下、多様な関係者間の連携を深めることなどを目的に行われ、アジアの国々を中心とする40の国と地域から、自然保護地域に関わる政府関係者、研究者、国際機関、NGOなど約800人が参加しました。



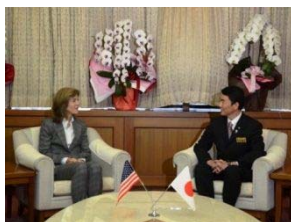
24日：楽天イーグルス日本一 優勝パレード

東北楽天イーグルスの優勝パレードが東二番町通り約1.5kmの区間で行われました。当日は21万人を超える人々が沿道に集まり、選手と一緒に日本一をお祝いしました。



25日：キャロライン・ケネディ駐日米国大使の村井知事表敬訪問

新しく米国の駐日大使に就任したばかりのキャロライン・ケネディ大使が、初の地方公務として宮城県を訪問しました。村井知事は、米軍の「トモダチ作戦」などで国を挙げて復旧・復興支援をしていることなどに対し感謝の意を示しました。



25日：美里町へのコールセンター立地に関する協定締結式

美里町は、「株式会社DIOジャパン」とコールセンター立地協定を村井知事立ち会いの下、締結しました。コールセンター業務は、DIOジャパン（本店：愛媛県松山市）の現地法人として今回設立した「株式会社みやぎ美里コールセンター」が実施します。最大で200人を雇用する予定で、県北では最大規模のコールセンターとなります。



土木部のトピックス

1日：長沼ダムの試験湛水を開始

ダム本体工事等が完成したことから、ダムへ水を試験的に貯めてダム本体や放流設備、貯水池周辺などに問題がないかを確認するための「試験湛水」を開始しました。



8日：塩竈市港町地区の一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業認可書交付式

塩竈市港町地区において、一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業が認可されました。今後、緊急避難施設や避難路として機能する津波避難デッキ、観光客等の避難施設として津波復興拠点支援施設、マリングート塩竈には備蓄倉庫が設置される予定です。



12日：耕英東砂防激特事業完成式

当地区は平成20年6月の岩手宮城内陸地震により甚大な被害に見舞われました。砂防えん堤等の砂防施設群の整備を砂防激甚災害対策特別緊急事業等で進めてきましたが、施設整備が完成しました。



17日：仙石線多賀城地区連続立体交差事業整備完了記念式典開催

多賀城駅付近約1.8km区間の鉄道の高架化、駅舎部を含む施設整備が完了しました。慢性化していた多賀城駅周辺の渋滞緩和が期待されます。



18日：パナマックス級穀物船（石巻港区）「ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA」入港

東日本大震災で被災した日和埠頭7号岸壁復旧を記念し、パナマックス級の大型船が飼料用とうもろこしを積載し石巻港区に初入港しました。

国・宮城県全体のトピックス

4日

タイ国際航空「仙台-バンコク線」定期便就航

タイ国際航空が東北初となる「仙台-バンコク線」を就航しました。当日は就航を記念してセレモニーが開催されました。



13日：平成25年度水防功労者表彰

平成25年7月26日からの低気圧の影響による豪雨に際し4日間延べ419名が出動して水防活動を行い浸水被害の軽減に多大な貢献をした「栗原市消防団」が国土交通大臣から表彰されました。

22日：仙台北部道路全線開通 富谷 IC 開通式

仙台北部道路が国道4号に直結し、仙台都市圏の東西交通軸が強化されることから、本県全体の産業や観光振興に大きく寄与するとともに、早期復興の弾みとなるものと期待されます。



27日：羽生結弦選手 ソチオリンピック冬季大日本代表決定に伴う知事表敬訪問

フィギュアスケート男子シングル代表としてソチオリンピック冬季大会に出場する仙台市出身の羽生結弦選手が、村井知事を表敬訪問しました。



27日：安倍総理大臣が宮城県内を視察

安倍総理大臣が石巻市の県漁協共同かき処理場、塩竈市伊保石地区の災害公営住宅等を視察しました。安倍総理大臣の視察は、総理就任後5回目です。

安倍総理大臣は「現場主義でさらに復興を加速させていきたい」と述べるとともに、被災した市町村が運営する国民健康保険について、国の財政支援を拡充する方針を示しました。



土木部のトピックス

2日～6日：災害査定（3次）

台風18号、台風26号により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、4件、56,971千円の査定決定額を受けました。

4日：コンテナ専用船「さがみ」就航・初入港

国内最大の内航コンテナ船「さがみ」が仙台塩釜港仙台港区に初入港しました。今後、京浜港との連携が強化されることにより仙台塩釜港の国際競争力のさらなる向上が期待されます。

19日：みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間事業説明会

20日：県営住宅の災害復旧工事が全て完了

全壊被害のあった、県営名取手倉田第二住宅1号棟（30戸）の建替工事が完了しました。これで、県営住宅災害復旧工事の全てが完了しました。

20日：「3.11伝承・減災プロジェクト」伝承サポーター募集開始

3.11伝承・減災プロジェクトに賛同し、伝承・減災を後押しして頂ける方々を広く募集し「伝承サポーター」として認定します。企業、個人を問わずサポーターの立場でそれぞれの伝承・減災を進めて頂きます。



21日：岩沼市「玉浦西地区第1期宅地引渡し式」

岩沼市玉浦西地区における防災集団移転促進事業の第1期35区画の宅地引渡し式が開催されました。

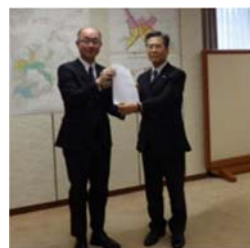


21日：南三陸町 戸倉地区藤浜団地」竣工式

南三陸町戸倉地区藤浜団地における防災集団移転促進事業の竣工式が開催されました。

21日：七ヶ浜町菖蒲田浜、花淵浜、代ヶ崎浜 A、代ヶ崎浜 B 地区の被災市街地復興土地区画整理事業認可書交付式

被災市街地復興土地区画整理事業4地区が事業認可され、事業認可書が、宮城県遠藤土木部長から渡邊七ヶ浜町長へ、直接手渡されました。



国・宮城県全体のトピックス

18日：多重防御かさ上げ道路整備事業が着工
(岩沼市)

津波対策としての多重防御計画の嵩上げ道路整備事業の起工式が岩沼市押分地区で行われました。「千年希望の丘」構想に加え、海岸防潮堤、河川堤防による「安全・安心なまちづくり」を目指しています。嵩上げ道路の本格着工は、県内初であり平成27年度の完成を予定しています。



18日：災害廃棄物県内焼却処理の終了

東日本大震災により発生した「災害廃棄物」の焼却処理が終了し、石巻港区雲雀野地区に設置された焼却炉の「火納め式」が行われました。

これにより、災害廃棄物の県内焼却処理が全て完了しました。



24日：東松島市柳の目北地区災害公営住宅整備事業着手

東松島市が農地を転用して85戸の災害公営住宅を建築する事業の起工式が行われました。地区内には集会所、公園なども併せて整備され、隣接する石巻市新蛇田南地区には、JR仙石線の新駅の設置が予定されています。

25日：常磐自動車道 舗装プラント火入れ式

常磐道専用の舗装プラントの建設が完了し、今後の工事の安全を祈願するため火入れ式が開催されました。



30日：亘理町防災集団移転促進事業「上塚団地」が完成

亘理町吉田地区で造成を進めていた上塚団地が完成し、亘理町初となる宅地引き渡しの契約締結式が行われました。

土木部のトピックス

15日：北上運河河川災害復旧工事に関する安全祈願祭

北上運河河川災害復旧工事の安全祈願祭を行いました。安全祈願祭には、施工者の他、久保田県土木部次長ら約50名の関係者が出席しました。



16日：大河原土木事務所管内災害復旧完了
東日本大震災で被災した大河原土木事務所管内、207箇所の道路、河川、橋梁の災害復旧工事が、全て完了しました。



20日：第4期流域下水道指定管理者を指定

指定管理者選定委員会で選定された候補者が、議会の議決を経て指定されました。これで、平成26年度から5年間の各流域下水道の指定管理者が決定しました。

20日：県庁舎・議会庁舎 災害復旧完了

県本庁舎と議会庁舎と災害復旧工事が終了しました。



24日：大島架橋事業（仮称）二ノ浜1号トンネル貫通式開催

平成25年10月から堀削を開始していた（仮称）二ノ浜1号トンネル工事が順調に進捗し、貫通式を開催しました。



30日：桜並木に願いをかける貞山運河の復興～を開催

貞山運河に沿って、官民連携で桜を植樹する取り組みを始めることから、貞山運河と桜をテーマに県民と沿岸地域の復興について考える機会として「第16代佐野藤右衛門」氏を講師として招き、「知水講座」を開催しました。



国・宮城県全体のトピックス

1日：塩竈市伊保石地区（第1期）災害公営住宅
入居開始

木造1階、2階建て全31戸が完成し、入居式が開催されました。



4日：東京タイガ株式会社との立地協定式

宮城県および塩竈市は、「元祖べっぴん餃子本舗」の商標にて黒豚入りの餃子等を製造・販売している東京タイガ株式会社と立地協定を締結しました。塩竈市内に新設される工場では、県内産の野菜や豚肉を使用した餃子や、笹かまぼこを具材とする「笹かま餃子」の製造を行っていく予定です。平成26年5月に工場建設を開始し、同年12月の操業開始を目指します。



13日：「東北4県・東日本大震災復興フォーラム」

東北被災4県により、首都圏にお住まいの方々を対象として復興フォーラムを開催しました。被災地の復興の現状や課題を総括した上で、今後に向けた展望を考えていくとともに、震災の風化防止と復興に対する全国からの幅広い支援の継続を訴えました。

15日：ソチオリンピック 羽生結弦選手が
金メダル

宮城県出身のフィギュアスケート男子シングル羽生結弦選手が日本人男子としては初の金メダルを獲得しました。

18日：宮城県議会平成26年2月定例会（第3
46回）が開会（～3/20まで）

宮城県議会の平成26年2月定例会が31日間の日程で開会しました。

土木部のトピックス

6日：鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会開催

河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの地域の実情に応じ、学識経験者から意見をもらいながら河川整備を進めるために国土交通省と合同で、懇談会を開催しました。

7日：宮城野原広域防災拠点構想の大規模事業評価
答申

東日本大震災の教訓から、仙台貨物ターミナルを買収し、広域防災拠点として整備することについて、妥当との評価を得ました。

7日：宮城県土木部発足80周年記念フォーラム
開催

土木部発足から80年のあゆみを振り返りながら、東日本大震災からの復興を通じて、新しい時代を切り開くことをテーマに記念フォーラムを開催しました。東北大学 今村文彦氏、一般財団法人国土技術研究センター 谷口博昭氏に講演をいただきました。

8日：石巻市新蛇田（B・C-1・C-2 街区）地区災
害公営住宅着工

14日：仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

仙台塩釜港の優位性や自動車関連産業等を中心とした集積状況など、企業向けのセミナーを開催し、約400名のお客様にお越しいただきました。

15日：低気圧による豪雪対応

8日に続き15日の豪雪で、宮城県内各地の道路で通行止めが発生しました。記録的な豪雪だったため除雪に約1週間を要しました。



国・宮城県全体のトピックス

9日：北上川・鳴瀬川水系内陸部災害復旧事業完成式

宮城県の治水，利水において重要な河川である北上川と鳴瀬川水系の内陸部災害復旧事業が完成したことから，完成式典が開催されました。



11日：県内各地で東日本大震災三周年追悼式を開催

東松島慰霊祭には大震災により亡くなられた方々の御遺族や村井知事など1,000人以上が参列しました。震災発生時刻の午後2時46分に黙とうが行われ，会場は犠牲者を追悼する静寂に包まれました。

また，県庁や合同庁舎に献花台と記帳所が設置され，多くの方々が犠牲者に鎮魂の祈りをささげました。



東松島市慰霊祭の様子

15日：仙台湾南部海岸 名取海岸災害復旧事業完成式

仙台湾南部海岸において，東日本大震災により甚大な被害を受けた名取海岸約4kmの堤防復旧工事が完成したことから，完成式典が開催されました。



30日：中国国際航空「仙台－上海（経由）北京線」が運航を再開

平成24年10月より運休となっていた中国国際航空「仙台－上海（経由）北京線」が運航を再開しました。当日は仙台空港において運航再開記念のセレモニーが開催され，搭乗客代表者への記念品贈呈などが行われました。



土木部のトピックス

10日：山元町新山下駅周辺地区（第二期）災害公営住宅（25戸）完成



21日：桜植樹祭を開催

「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく取り組みの先駆けとして，小林製薬株式会社との共催により，岩沼海浜緑地公園・南ブロック内に60本の桜を植樹しました。



24日：東松島市鳴瀬給食センター跡地地区災害公営住宅（21戸）完成

25日：（都）駅前大通線（亘理町）開通

亘理駅西口駅前広場から国道6号に至る路線（全体延長1,125m）が開通しました。

駅利用者や通行車両等の利便性や安全性が向上するとともに，市街地の混雑緩和など，生活環境の改善が図られます。



26日：流域下水道災害復旧事業が全て完了

石巻東部浄化センターの水処理施設2系列の災害復旧工事が完成しました。これにより宮城県の流域下水道施設の災害復旧が全て完了しました。



29日：（主）涌谷津山線 下屋浦工区供用開始

登米市豊里町中心市街地のJR気仙沼線アンダーボックス付近は，道路線形が悪く狭隘な道路でしたが跨線橋を含む900m区間の道路改良工事を実施し，安全で円滑な通行が可能になりました。



土木総務課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

1日 辞令伝達式 開催



新規採用職員(73名)、自治法派遣職員(104名)が土木部に配属となり部長による辞令伝達が執り行われました。

3日 辞令伝達式 開催

6月1日付けで採用となった任期付職員の辞令伝達式が執り行われました。



19日～9月6日 次年度の自治法派遣職員の継続要請のためお礼訪問し、震災からの現状報告を実施

当県土木部、農林水産部の幹部職員が、現在派遣をいただいている都道県を訪問し、これまでの応援に対するお礼と、平成26年度以降の継続派遣要請を実施しました。合わせて、震災からの復興に関する報告会を開催し、多くの方に参加いただきました。



8月19日山梨県にて

30日 第10回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催



被災三県での合同要望や施工確保対策等について、被災三県の土木部長等が会場の福島県に集合し情報共有を図りました。

13日 平成25年度第3回土木部課室長及び地方公所長会議 開催

平成25年度予算の執行状況及び平成26年度当初予算などについて情報共有を図りました。



11日 東日本大震災の発災から3年が経過

県内各地で追悼式が開催されました。



12日 平成25年度第1回土木部課室長及び地方公所長会議 開催



平成25年度当初にあたり、部の方針や災害に強いまちづくり宮城モデルの構築、事業管理計画などについて情報共有を図りました。当日は、知事にも出席いただきました。

23日 第8回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催

平成24年度からの定期に行っている被災3県の土木部長会議の第8回目。今回は宮城県で開催し、復旧・復興事業に係る諸課題について議論し、情報を共有しました。



12日 平成25年度第2回土木部課室長及び地方公所長会議 開催

復旧・復興に向けた事業進捗管理計画の推進などについて情報共有を図りました。



29日～11月18日 自治法派遣職員との意見交換会 実施

派遣職員が円滑に業務を推進できるよう、要望等を集約するため意見交換会を実施しました。



1日 辞令伝達式 開催



11月1日付けで採用となった新規採用職員、任期付き職員の辞令伝達式が執り行われました。

12日 第9回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催



防潮堤等災害復旧事業、用地確保対策、応援職員の確保等について、被災三県の土木部長等が会場の岩手県に集合し情報共有を図りました。

3日 被災3県土木部長要望 実施

3県沿岸部を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発災から、3年目を迎えることから、国土交通省と復興庁に対して被災地の実態に即した予算措置等に向けた要望を実施しました。

7日 宮城県土木部発足80周年記念フォーラム 開催

土木部発足からこれまでの80年のあゆみを振り返りながら、東日本大震災からの復興を通じて、新しい時代を切り開くことをテーマに記念フォーラムを開催しました。フォーラムでは、東北大学の今村文彦様、一般財団法人国土技術研究センターの谷口博昭氏に御講演をいただいたほか、有識者によるパネルディスカッションが行われました。



事業管理課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

19日 自治法派遣職員研修を開催



自治法派遣職員(90名)を対象として、宮城県の被災状況・復興状況等の現状から、工事積算・監督・検査宮城県での実務に関する研修を開催しました。

28日 東日本大震災に伴う建設工事の設計・積算に係る説明会を開催

東日本大震災の復旧・復興事業の本格化に伴うスライド条項等の特例措置について、健康時入札参加登録者を対象として説明会を開催しました。



25日～10月1日

復旧・復興工事新規就労者安全衛生講習会を開催

宮城県発注の災害復旧・復興工事に従事する新規就労者(経験年数3年未満)を対象に、建災防宮城支援センターを講師に招き、沿岸部3地区で安全衛生講習会を開催しました。



1日 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱

当初設計において現着単価で積算を行っている工事で、供給元で取引する場合は実取引に基づく変更ができるものとした。

30日 建設業法令等遵守研修会を開催

建設工事に関わる県内の市町村、県各機関(総勢211人)を対象に請負契約の適正化に関する知識等について研修会を開催しました。



14日～15日 新任技術職員研修を開催

平成25年度に採用された新任技術職員(69人)を対象として、土木部の概要や積算演習、建設業法令等の実務的内容の研修、実際の復興事業の現場見学等を実施しました。



24日 単品スライド条項の運用の拡充

生コンクリート類等についても、単品スライドの対象資材として適用を拡充した。

東日本大震災の被災地で使用する建設機械の機械損料の補正

建設機械の運転1時間当たり損料を3%を超えない範囲で補正を行った。

18日 宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会を開催

宮城県発注の建設工事の優良施工者及び安全管理に対する取組が優良だった現場代理人を対象に表彰式が行われました。



23日 東日本大震災の復旧・復興事業における労働者宿舎設置の積算方法等に関する試行

宿舎の設置・撤去等に要する費用について、設計変更により共通仮設費の積上分として計上可能とした。

13日 「生コンクリート仮設プラント設置事業に関する履行協定」の締結

復旧・復興事業の本格化に伴い、生コンクリートの需要量が供給能力を超過することから、公共が関与して生コンクリート仮設プラント施設を設置し、生コンクリートの安定的な供給の確保を図ることとしました。



7日 宮城県土木部技術研究発表会 開催

宮城県土木部発足80周年記念フォーラムに合わせ、東日本大震災特別発表会を開催しました。



用地課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

23～26日 土木部職員研修(用地講座)開催

内容:新規用地担当職員に対し、用地取得の基礎知識を研修しました。
(市町村支援の観点から市町村職員の受講も可能としました。)

参加者:県職員45名,市町村職員56名

24日事業認定及び収用裁決申請研修会開催

内容:土地収用法の「事業認定」及び「収用裁決申請」の手続を研修しました。

参加社:県職員32名,市町村職員30名

21日 第2回用地専門監・用地担当班長会議開催 (沿岸三土木事務所)

復旧・復興事業に特化した用地取得に係る課題等を協議しました。

○主な内容

- ・災害復旧・復興事業進捗状況表及び用地取得箇所別管理表について
- ・協定団体による代替地情報提供依頼について
- ・用地補償総合技術業務について

2～4日 用地ヒアリング実施(沿岸三土木事務所)

復旧・復興事業に係る用地取得の状況及び課題点を把握し、用地取得事務の円滑化を図るため、担当者が出向き課題点等の聞き取りを行いました。

13日 復旧・復興事業用地取得の加速化対策に係る意見交換(岩手県&宮城県)の実施

東日本大震災からの復旧・復興という共通課題を持つ岩手県と今後の復旧・復興事業に係る用地取得の加速化のための手法について協議を行いました。

21日 第5回用地専門監・用地担当班長会議開催

○主な内容

- ・用地取得業務の進行管理方法について
- ・取得困難地(相続人が海外に移住した場合等)の処理方法について

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

10日 第1回用地専門監・用地担当班長会議開催

用地取得に係る課題等を協議しました。

○主な内容

- ・平成24年度用地取得実績について
- ・平成25年度における用地取得計画について

(5月30～)14日 用地ヒアリング実施(各事務所)

用地取得の状況及び課題点を把握し、今後の用地取得事務の円滑化を図るべく、各公所に担当者が出向き課題点等の聞き取りを行いました。

6日 第3回用地専門監・用地担当班長会議開催

○主な内容

- ・用地補償総合技術業務について
- ・財産管理人制度の活用について

22日 第4回用地専門監・用地担当班長会議開催 (沿岸三土木事務所)

○主な内容

- ・用地取得計画を達成するための方策の策定について
- ・収用裁決申請予定箇所の進行管理方法について
- ・用地取得箇所別管理表について
- ・取得困難地の整理について

10日 被災三県用地確保対策連絡会議実施

被災三県(岩手、福島及び宮城県)における現在の状況と用地取得の加速化について協議を行い、今後も情報共有のため必要に応じ開催するものとなりました。

19～25日 用地ヒアリング実施(沿岸三土木事務所)

○主な内容

- ・平成25年度用地取得の状況及び課題点の把握について
- ・平成26年度に向けた進行管理の方策及び用地取得計画について

道路課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

20日 第3回 復興道路会議開催

復興道路等の早期完成を図るため、事業進捗の確認や促進に向けた取組等について、関係機関と意見交換を行いました。



31日 (一)大衡仙台線小野工区開通式

大和町と仙台市内を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が図られます。



10日 (国)398号 宮前工区開通式

安全で円滑な道路交通の確保や、地域の安全・安心が図られます。



22日 仙台北部道路全線開通 富谷IC開通式

仙台北部道路が国道4号に直結し、仙台都市圏の東西交通軸が強化されることから、本県全体の産業や観光振興に大きく寄与するとともに、早期復興の弾みとなるものと期待されます。



25日 常磐自動車道 舗装プラント火入れ式

常磐道専用の舗装プラントの建設が完了し、今後の工事の安全を祈願するため開催されました。



29日 (主)涌谷津山線下町跨線橋 開通式

JR気仙沼線をまたぐ下町跨線橋の開通により、車両や自転車歩行者の安全で円滑な交通が確保されます。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

1日 仙台南部道路が宮城県道路公社からNEXCO東日本へ移管

仙台南部道路の移管に先立ち、6月21日には、関係機関の代表者により引継式が開催されました。



24日 ハイスchoolサミットin東北開催

全国21道県から68名の高校生が集まり、東日本大震災からの復興等を踏まえ、「元氣な未来」をメインテーマとしてフォーラムを開催しました。



19日 第1回 仙台東部地区道路ネットワーク検討会開催

仙台東部地区の道路ネットワークについて検証を行い、円滑なアクセス策について検討を行うことを目的として開催しました。



24日 大島架橋事業(仮称)二ノ浜1号トンネル貫通式

平成25年10月から掘削を開始していた(仮称)二ノ浜1号トンネル工事が順調に進捗し、貫通式を開催しました。



26日 (主)気仙沼唐桑線東舞根 起工式

防災集団移転地へのアクセス道路として、気仙沼市と連携して計画し、本県三陸沿岸部における復興交付金道路事業の初の着工となります。



河川課 「平成25年度復旧・復興カレンダー」

17日 水防対応力向上講演会を開催



水防月間の取り組みとして、宮城県では初めて「水防対応力向上講演会」を開催し、東北地方整備局及び仙台管区気象台から御講演いただきました。

21日「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定



仙台湾沿岸地域の復興において、目標とする姿やそれを実現するための仕組みについて示し、復興のシンボルと誇れる運河群として再構築を図るため「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定・公表しました。

1日 長沼ダム試験湛水を開始



迫川総合開発事業の一環として昭和50年度に着手した「長沼ダム」が、概成したことから11月1日に試験湛水を開始しました。

30日 知水講座（～桜並木に願いをかける貞山運河の復興～）を開催



貞山運河に沿って、官民連携で桜を植樹する取り組みを始めることから、貞山運河と桜をテーマに県民と沿岸地域の復興について考える機会として「第16代佐野藤右衛門」氏を講師として招き、「知水講座」を開催しました。

15日 仙台湾南部海岸名取海岸災害復旧事業完成式



仙台湾南部海岸において、東日本大震災により甚大な被害を受けた名取海岸約4kmの堤防復旧工事が完成したことから、完成式典が開催されました。

「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく取り組みの先駆けとして、小林製薬株式会社との共催により、岩沼海浜緑地公園・南ブロック内に60本の桜を植樹しました。



21日 桜植樹祭を開催

18日 弘川ダム竣工式を開催

伊里前川総合開発事業の一環として平成4年度に着手した「弘川ダム」が4月26日に試験湛水を終了したことから、竣工式典を開催しました。



29日 宮城県水防協議会を開催

関係行政機関、水防団体、学識経験者の審議により、今年度の宮城県水防計画が承認されました。



23日 出前講座を開催

大和町財産区連絡協議会の研修会で、「みやぎの治水事業」と題して、宮城県の降雨特性、水害の歴史や治水対策についての出前講座を実施しました。



8日 河川整備学識経験者懇談会を開催 （五間堀川、増田川、及び北上川(2)圏域）

河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの地域の実情に応じ、学識経験者から意見をもらいながら河川整備を進めるために懇談会を開催しました。（12/26：第2回懇談会、2/14：第3回懇談会を開催）



6日 鳴瀬川水系河川整備学識経験者懇談会を開催

河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの地域の実情に応じ、学識経験者から意見をもらいながら河川整備を進めるために国土交通省と合同で、懇談会を開催しました。



9日 北上川・鳴瀬川水系内陸部災害復旧事業完成式

本県の治水、利水において重要な河川である北上川と鳴瀬川水系の内陸部災害復旧事業（直轄施工）が完成したことから、完成式典が開催されました。



防災砂防課 「平成25年度復旧・復興カレンダー」

平成25年4月～平成26年3月

復旧・復興パネル展開催



公共土木施設の復旧について、「復旧・復興パネル展」を県庁18階の常設展示を始め、防災訓練など種々の行事に出展し、広く情報発信する防災意識の啓発を図る活動を行いました。

開催期間

開催名称

H25. 8.23～ 9.6	復旧・復興パネル展「防災の日」
H25. 9. 4～ 9.6	土木学会全国大会パネル展示
H25.10.25～11.8	復旧・復興パネル展「津波防災の日」
H26. 2. 6～ 2.7	第18回「震災対策技術展」

他多数出展

平成25年5月～平成26年3月

土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害から県民の生命・身体を守ることを目的としたソフト対策として、「土砂災害防止法に基づいた土砂災害警戒区域等の指定」に取り組みました。

12日 総合防災訓練を実施



今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ総合防災訓練を実施しました。

30日～10月4日 災害査定(1次)

7月の豪雨などにより被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、29件 358,551千円の査定決定額を受けました。

21日～25日 災害査定(2次)

7月の豪雨により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、26件 161,704千円の査定決定額を受けました。

20～21日

公共土木施設災害復旧事業《後期》研修会開催

公共土木施設災害復旧事業の制度について、基礎的な知識の習得を図り、本業務の適性・円滑化を図るため、現地被災調査、朱入れを含む査定までの一連の基礎的な実務を実施する研修会を行いました。



2日～6日 災害査定(3次)

台風18号、台風26号により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、4件、56,971千円の査定決定額を受けました。

25日 津波防災シンポジウムを開催

宮城県庁にて、「地域で育てる津波防災文化」のテーマのもと開催したシンポジウムには、約200名の参加者が集まりました。



6日 土砂災害防止に関する講習会を開催

市町村職員を対象に土砂災害に対する警戒避難体制構築のため講習会を開催しました。



17日～28日 H24 土砂災害防止に関する
絵画・作文コンクール入賞作品展示



土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうため、次代を担う小・中学生を対象に開催したコンクールの入賞作品を展示しました。

23日 土石流災害現場における自然林再生の試み

土砂災害により失われた栗原市耕英東地区の、森林の再生、裸地の保護、砂防緩衝帯の形成及び景観保護などを目的とし、くりま絆の森植樹プロジェクトチーム・宮城県砂防ボランティア協会等の団体による植樹が行われ、県でも自然林再生手法の一つである「生態学的混播・混植法」の講習会並びに現地実習を同月10日に行いました。今後も、この地の森の再生を目指し、それぞれが継続して植樹を実施していきます。



12日 耕英東砂防激特事業完成式を開催

岩手・宮城内陸地震で大きな被害を受けた栗原市耕英東地区駒の湯温泉周辺の砂防施設群の整備が完成したことから、復旧事業の完了と栗駒山麓の復興を祈念し、完成式を開催しました。



20日 「3.11伝承・減災プロジェクト」

伝承サポーター募集開始



3.11伝承・減災プロジェクトに賛同し、伝承・減災を後押しして頂ける方々を広く募集し「伝承サポーター」として認定します。企業、個人を問わずサポーターの立場でそれぞれの伝承・減災を進めて頂きます。

港湾課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

19日 大型客船「コスタピクトリア」入港(仙台港区)

外航大型客船「コスタ・ピクトリア」が乗客約2,000人を乗せ、仙台港区に初入港しました。



22日 女川港湾口防波堤復旧スタート

女川湾口防波堤災害復旧工事において、ケーソン据付が開始され本格復旧を開始しました。



18日 外貿定期コンテナ航路

韓国航路の中国延伸(寧波・上海・蔚山)



東日本大震災以降、韓国航路として再開されていた定期航路が中国まで延伸されました。

27日 交通政策審議会第52回港湾分科会

三港を統合する「仙台塩釜港港湾計画」について、国の審議会において審議され了承されました。

29日 仙台塩釜港管理・運営協議会 仙台塩釜港利用促進連絡会議



県・地元自治体、港湾利用者など地域が一丸となって、新たな仙台塩釜港の利用促進に取り組んでいくため協議会及び連絡会議を開催しました。

31日 第11回港湾感謝祭開催(石巻港区)

砕氷艦「しらせ」

東日本大震災により中止されていた「港湾感謝祭」が3年ぶりに開催され、海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が一般公開されました。

19日 大型客船「飛鳥Ⅱ」入港(仙台港区)

仙台港区に大型客船「飛鳥Ⅱ」が入港しました。

19日 大型客船「オーシャンドリーム」入港(石巻港区)



「世界一周の船旅」に向けて7月18日に横浜港を出港した外航大型客船「オーシャンドリーム」が最終寄港地として石巻港区へ入港しました。

4日 新造船コンテナ専用船「さがみ」(仙台港区) 就航・初入港

内航コンテナ船としては国内最大の積載量(404TEU積)を有する新造船コンテナ専用船「さがみ」が就航し、仙台港区に初入港しました。



14日 仙台国際貿易港首都圏セミナー開催



仙台塩釜港の優位性や自動車関連産業等を中心とした集積状況など、企業向けのセミナーをホテル椿山荘東京で開催し、約400名のお客様にお越しいただきました。

3日 横浜税関仙台塩釜税関支署 コンテナ検査センター再稼働式

東日本大震災により発生した津波により甚大な被害を受けた、大型エクス線検査装置を備える東北唯一のコンテナ検査センターが復旧し、再稼働式が行われました。



9日 大型客船「ふじ丸」入港(石巻港区)

平成25年6月の引退が発表された大型客船「ふじ丸」が乗客約260人を乗せ、5年ぶりに入港しました。今回が石巻港区への最後の寄港となりました。



24日 第35回宮城県地方港湾審議会

仙台塩釜港及び石巻港の港湾計画を統合するとともに松島港の計画を新たに位置付けた、新たな「仙台塩釜港港湾計画(案)」について審議され了承されました。

11日 宮城県港湾復興大会の開催



宮城県港湾協会による『港湾復興大会』が開催され、宮城県の港湾の復興に関する決議が採決されました。

5日 45フィートコンテナ輸送車両 購入支援助成金募集開始

45フィートコンテナの普及と利用拡大を図るため、「宮城県45フィートコンテナ輸送車両購入支援補助金」の助成対象事業の募集を開始しました。

21日 仙台塩釜港仙台港区中央公園・湊浜緑地 ネーミングライツ契約締結

住友スリーエム株式会社と仙台港区にある中央公園・湊浜緑地のネーミングライツの契約を締結しました。



10日 大型客船「ばいふいつくびいなす」入港

(石巻港区)



石巻港区への「ばいふいつくびいなす」の寄港は2年連続で、乗客は石巻市などを巡るオプションツアーに参加し、夕方に最終目的地の横浜港に向け出港しました。

18日 パナマックス級穀物船(石巻港区)

「ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA」入港

東日本大震災で被災した日和埠頭7号岸壁復旧を記念し、パナマックス級の大型船が飼料用とうもろこしを積載し石巻港区に初入港しました。



18日 石巻ブロック火納め式(石巻港区)



東日本大震災により発生した「災害廃棄物」の焼却処理が終了し、石巻港区雲雀野地区に設置された焼却炉の「火納め式」が行われました。

25日 第36回宮城県地方港湾審議会

仙台塩釜港(仙台港区)の港湾計画の軽易な変更を審議し了承されました。



空港臨空地域課「平成25年度復旧復興カレンダー」

12日 LCCピーチが新規就航



東北初のLCCであるピーチ・アビエーションが仙台空港に新規就航しました。初便の出発に合わせて記念セレモニーが開催されました。関西線は4年ぶりの再開となります。

20日 スカイマークが新規就航



スカイマークが仙台空港に新規就航しました。札幌線が1日3往復、福岡線は1日2往復の運航となります。

15日 仙台エアカーゴターミナル国際貨物棟が再建

津波で焼失した仙台エアカーゴターミナル国際貨物棟が再建され、全ての国際貨物の取扱が再開されました。



27日 村井知事がハワイを訪問し観光物産をPR



ハワイアン航空によるホノルル線の就航に合わせて知事がホノルル市内で宮城の観光物産をPRしました。

24日 仙台空港国際線免税店がリニューアルオープン

仙台空港国際線の免税店が店舗面積を拡大し、地場産品の取扱を充実させて、リニューアルオープンしました。

26日 ハワイアン航空ホノルル線が新規就航



ハワイアン航空によるホノルル線が新規就航し、初便の出発に合わせて記念セレモニーが開催されました。

8月

2日 仙台空港アクセス鉄道利用者数が1500万人を達成

13日 仙台空港アクセス鉄道ラッピング電車が運行



仙台空港を利用した航空旅行の需要を喚起するため、仙台空港からの就航都市をイメージしたラッピング電車を1月まで運行しました。

仙台空港アクセス鉄道の利用者数が開業以来1500万人を達成しました。



10月

4日 タイ国際航空バンコク線新規就航



タイ国際航空によるバンコク線が新規就航しました。初便の出発に合わせて記念セレモニーが開催されました。

19日～20日「ソラ行け旅フェスタ」を開催

仙台空港からの航空旅行の需要を喚起するため、仙台市内商店街で「ソラ行け旅フェスタ」を開催しました。



12月

年間の仙台空港アクセス鉄道利用者数が過去最高を記録し、仙台空港乗降客数が300万人を突破

平成25年の仙台空港アクセス鉄道の年間利用者数と仙台空港の年間乗降客数がともに300万人を突破しました。



2月

12日「ソラ旅ガールズフェスタ」開催

仙台空港からの航空旅行の需要を喚起するため、仙台市内のホテルにおいて、女性を対象とした「ソラ旅ガールズフェスタ」を開催しました。



都市計画課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

- 4月**
- 1日 仙台港多賀城地区緩衝緑地一部再開園
災害復旧工事が概ね完了し再び供用開始
- 19日 復興整備協議会
(南三陸町)
- 5日 第164回県都市計画審議会
- 25日 南三陸町志津川東地区一団地の
津波防災拠点市街地形成施設 安全祈願祭
- 31日 新山下駅周辺地区 一団地の津波防災拠点
市街地形成施設着工式
- 5月**
- 16日 塩竈市北浜地区被災市街地復興土地区画整理
事業認可交付式を開催
仙塩地区で初の事業認可交付式
が行われました。
- 13日 復興整備協議会
(石巻市, 気仙沼市, 東松島市, セーバー町, 南三陸町)
- 4日 復興整備協議会
(仙台市, 名取市, 南三陸町)
- 28日 気仙沼市鹿折南気仙沼地区被災市街地
復興土地区画整理事業着工式
- 6月**
- 7日 新坂元駅周辺地区 一団地の津波防災
拠点市街地形成施設 安全祈願祭
- 7月**
- 8日 復興整備協議会
(石巻市, 気仙沼市, 南三陸町)
- 12日 復興整備協議会
(塩竈市, 東松島市, 南三陸町)
- 10日 第166回県都市計画審議会
- 石巻広域都市計画道路, 仙塩広域都市計画緑地・下水道の変更, 名取市閑上地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画に対する意見書についての審議
- 17日 第167回県都市計画審議会
- 名取市閑上地区被災市街地復興土地区画整理事業及び石巻市下釜第一地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画に対する意見書についての審議
- 17日 仙石線多賀城地区連続立体交差事業整備完了
記念式典を開催
- JR仙石線多賀城駅周辺の高
架化施設整備が完了し, 新駅
舎の全面供用が開始されたこ
とにより, 中心市街地の一体
化および土地の高度利用など,
さらなる発展が期待されます。
- 8月**
- 31日 第168回県都市計画審議会
- 名取市閑上地区被災市街地復興土地区画整理事業
の事業計画に対する意見書についての審議
- 20日 第169回県都市計画審議会
- 七ヶ浜町菖蒲田浜, 花湊浜, 代ヶ崎浜A, 代ヶ
崎浜B地区被災市街地復興土地区画整理事業
の事業計画に対する意見書についての審議
- 6日 第170回県都市計画審議会
- 石巻広域都市計画道路, 気仙沼都市計画道路,
志津川都市計画道路の変更, 仙台市蒲生北部
地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業
計画に対する意見書についての審議
- 7日 宮城野原広域防災拠点構想の大規模事業評価答申
- 東日本大震災の教訓から, 仙台貨物ターミナ
ルを買収し, 広域防災拠点として整備すること
について, 妥当との評価を得た。
- 20日 復興整備協議会
(石巻市, 気仙沼市, 東松島市)
- 24日 第171回県都市計画審議会
- 仙塩広域都市計画道路の変更についての審議
- 9月**
- 14日 復興整備協議会
(石巻市, 気仙沼市, 女川町, 南三陸町)
- 10月**
- 11月**
- 12月**
- 1月**
- 2月**
- 3月**

復興まちづくり推進室「平成25年度復旧・復興カレンダー」



29日津波避難に関する勉強会を開催
先進事例の紹介や津波防災施設の見学を通じて、津波避難計画の知識を深めるための勉強会を開催しました。

10日防集移転跡地の利活用にかかるワーキンググループ全体会議を開催
防集事業により買い取った移転跡地の復興に向けた土地利用計画の策定と事業の推進を支援するため、利用種別毎に関係課室による5つのワーキンググループを設置しました。

5日～出前講座「宮城県の復興まちづくりの計画と現状」を開講
社会資本整備を担う、土木技術を学ぶ学生に復興まちづくりの計画と現状を伝え、関心を持っていただくと共に、進路の参考にさせていただくよう、東北学院大学工学部、石巻工業高等学校、日本大学理工学部において、出前講座を開講。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

25日「災害に強いまちづくり宮城モデル」担当者勉強会を開催

各市町の復興まちづくり担当者を対象に、「災害に強いまちづくり宮城モデル」の概要説明、各市町の取組事例の紹介、事業推進上の課題解決に向けた意見交換などを行いました。



7日「復興まちづくり事業カルテ」を追加・更新

「復興まちづくり事業カルテ」について、沿岸市町全ての面整備事業を網羅するよう対象地区を拡大するとともに、既作成地区も内容の更新・充実を図りました。

19日復興まちづくり事業勉強会を開催

各市町の復興まちづくり担当者を対象に、国土交通省、復興庁などから講師を招き、施策説明や各市町の取組事例の紹介、事業推進上の課題解決に向けた意見交換などを行いました。



下水道課 「平成25年度復旧・復興カレンダー」

1日 石巻東部浄化センター

土木・建築施設復旧 供用開始

平成25年9月18日に下水処理を開始していた北上川下流東部流域下水道石巻東部浄化センターの土木・建築工事が完成し、施設の使用を開始しました。処理場の外観は震災前の姿に戻りました。



27日 第1回宮城県流域下水道

指定管理者選定委員会 開催



流域下水道指定管理者候補者の選定に関する知事の諮問を受け、有識者6名による選定委員会が開催されました。7流域全てを一般公募として募集し、10月までに5回の選定委員会を開催して審議を重ね、候補者を選定していただきました。



7日 県南浄化センター
ふれあい感謝祭
(来場者:1,167名)



8日 大和浄化センター
下水道ふれあいフェスタ
(来場者:484名)



21日 仙塩浄化センター
下水道ふれあいフェア
(来場者:1,100名)



2日 石巻浄化センター
流域下水道まつり
(来場者:1,166名)

19日 石巻浄化センター水処理施設

2系列増設(設備)工事 完成



水処理施設2系列の1/2の機械・電気設備工事が完成しました。次年度に覆蓋工事を実施後に供用開始する予定です。これにより、防災集団移転団地等の流入量増加にも対応するもので、被災地域の復興を推進するものとなります。

31日 23都災 市町村支援業務(H25年度末)

協議設計保留解除進捗率 57%

全126件のうち、今年度末までに72件の保留解除の市町村支援を行いました。これまでに6市6町の支援うち、3市3町の保留解除を完了しています。

1日 県南浄化センター

下水汚泥燃料化施設復旧 供用開始



阿武隈川下流流域下水道県南浄化センター(岩沼市)の汚泥燃料化施設が復旧し稼働を開始しました。この施設は、下水汚泥を乾燥・造粒してバイオソリッド燃料を製造する施設で、石炭の代替燃料として売却することにより処分費の縮減を図ることができます。

20日 石巻浄化センター 水処理施設

2系列増設(土木)工事 完成

北上川下流流域下水道の流入量増加に対応する水処理施設2系列の土木工事(躯体、導水管)が完成しました。機械・電気設備、覆蓋工事が完成後に供用開始となります。



5日 北海道・東北ブロック下水道災害時 支援連絡会議(盛岡市)

31日 23都災 市町村支援業務(上半期) 協議設計保留解除進捗率 32%

市町村の下水道施設の災害復旧事業に対して、技術的な支援と手続きを含めた事務的な支援を行っています。(41件/126件)

3日 大和浄化センター 水処理施設

4系列増設(土木)工事 着手

吉田川流域下水道における都市圏近郊の住宅団地開発による人口増や普及率の拡大及び工業団地への企業進出等に伴う流入量増加に対応するため、水処理施設4系列の土木工事に着手しました。

16日 第4期指定管理者を指定

指定管理者選定委員会で選定された候補者が、議会の議決を経て指定されました。これで、平成26年度から5年間の指定管理者が決定しました。

26日 石巻東部浄化センター

水処理2系列災害復旧工事 完成

北上川下流東部流域下水道石巻東部浄化センターの水処理施設2系列の災害復旧工事が完成しました。これにより処理場の全施設が完全復旧し、震災前の水処理能力が回復するとともに、県の流域下水道施設の災害復旧が全て完了しました。



建築宅地課「平成25年度復旧・復興カレンダー」



12日 セツ浜町防災集団移転促進事業起工式の開催

セツ浜町花洲浜笹山地区において起工式が行われました。

13日 防災集団移転促進事業の事業計画に係る同意地区が100%に

6月13日に開催された復興整備協議会において、気仙沼市浦の浜地区が事業計画の国土交通大臣同意を得て、県内の計画地区の事業計画の大臣同意率が100%となりました。

13日 セツ浜町復興整備協議会(2地区)、南三陸町復興整備協議会(1地区)の開催

開発行為についてみなし許可を得るため、復興整備協議会が開催され、以降平成26年3月20まで今年度は19回開催されました。

16日 気仙沼市防災集団移転促進事業造成工事着工式の開催

気仙沼市が計画する住宅団地造成の初めての着工式が行われました。



8日 気仙沼市復興整備協議会(2地区)、南三陸町復興整備協議会(3地区)の開催

12日 塩竈市復興整備協議会(2地区)、南三陸町復興整備協議会(1地区)の開催

15日 気仙沼市復興整備協議会(3地区)、東松島市復興整備協議会(1地区)、女川町復興整備協議会(2地区)、南三陸町復興整備協議会(4地区)の開催

21日 塩竈市復興整備協議会(1地区)、南三陸町復興整備協議会(3地区)の開催

21日 岩沼市 防災集団移転促進事業「玉浦西地区第1期宅地引渡し式」の開催



岩沼市玉浦西地区における防災集団移転促進事業の第1期35区画の宅地引渡し式が開催されました。

21日 南三陸町 防災集団移転促進事業「戸倉地区藤浜団地」竣工式の開催



南三陸町戸倉地区藤浜団地において竣工式が開催されました。

26日 気仙沼市復興整備協議会(1地区)、女川町復興整備協議会(1地区)、南三陸町復興整備協議会(2地区)の開催



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

12日 復興推進計画(応急仮設建築物活用事業)の認定

県と10市町が共同申請した復興推進計画(10市町、65件)が内閣総理大臣から認定され、各市町の応急仮設建築物が2年3か月を超え、特定行政庁が1年以内ごとに認めることにより、計画期間まで存続できるようになりました。

28日 宮城県建築物等地震対策推進協議会の開催

県内の建築物等の総合的な地震対策の推進を図る協議会の総会を開催しました。

26日 被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

南海トラフ巨大地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

5日 建築宅地行政意見交換会等の開催

建築関係団体等の方々との意見交換会を開催しました。この意見交換会は、建築確認円滑化対策協議会、建築行政マネジメント計画推進協議会としても位置づけられており、今年度は2回開催しました。



13日 復興推進計画(応急仮設建築物活用事業)の変更認定

復興推進計画に応急仮設建築物を10件追加し、必要な字句を修正する変更について、内閣総理大臣から認定されました(10市町、75件)。

25日 出前講座の開催

大規模地震に備え木造住宅の耐震化や家具の転倒防止などの地震対策について出前講座を実施し、今年度は3回開催しました。

16日 災害時における民間賃貸住宅の提供等に関する協定の締結

(公社)宮城県宅地建物取引業協会、(公社)全日本不動産協会宮城県本部及び(公社)全国賃貸住宅経営者協会連合会と災害時における民間賃貸住宅の提供等に関する協定を締結しました。

31日 被災宅地危険度判定士講習会の開催

被災宅地危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しました。



27日 被災建築物応急危険度判定技術者講習会の開催

被災建築物応急危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施し、今年度は5回開催しました。



14日 気仙沼市復興整備協議会(10地区)、女川町復興整備協議会(2地区)、南三陸町復興整備協議会(1地区)の開催

20日 気仙沼市復興整備協議会(4地区)の開催

復興住宅整備室「平成25年度復旧・復興カレンダー」

6月21日 山元町新山下駅周辺地区(第1期)

災害公営住宅 完成



木造 2階, 1階
32戸



8月8日 石巻市黄金浜地区・吉野町地区

災害公営住宅着工



黄金浜地区



吉野町地区

10月15日 亘理町下茨田・上浜街道地区

災害公営住宅着工



下茨田地区



上浜街道地区

1月17日 石巻市新蛇田(A-1街区)地区

災害公営住宅着工



2月8日 石巻市新蛇田(B,C-1,C-2街区)地区

災害公営住宅着工



B街区

C-1街区
C-2街区



28日 女川町陸上競技場跡地地区

災害公営住宅入居式

4月18日 女川町陸上競技場跡地地区

災害公営住宅着工式

6月4日 多賀城市桜木地区

災害公営住宅着工式

6月4日 山元町新山下駅周辺地区(第2期)

災害公営住宅着工

10月6日 石巻市黄金浜北地区

災害公営住宅着工



10月29日 東松島市矢本東保育所跡地地区

災害公営住宅着工



11月7日 気仙沼市南郷地区

災害公営住宅着工式

2月1日 塩竈市伊保石地区(第1期)

災害公営住宅入居式

3月10日 山元町新山下駅周辺地区(第2期)

災害公営住宅 完成



木造 1階
25戸



3月24日 東松島市鳴瀬給食センター跡地地区

災害公営住宅 完成



鉄筋コンクリート造
5階(一部3階)
21戸



住宅課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

4月13日 住宅再建相談会を開催

みやぎ復興住宅整備推進会議と独立行政法人住宅金融支援機構の共催により、被災者が自力再建するうえで必要とする融資、資金計画、助成制度、建築相談（プラン、概算工事費等）などの内容にワンストップで対応する相談会が、気仙沼会場を皮切りに県内各地で開催しました。（※年度末まで15市町で134回開催）

4月

4月18日 第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

住宅・まちづくりに関する情報を関係機関で共有し、全国のモデルとなる復興住宅整備を目指します。今年度第1回目となる会議を開催しました。



5月

6月

7月13, 14日 「住まいの耐震博覧会2013」のイベントに職員を派遣

夢メッセみやぎで行われた、民間会社主催の住まいに関する情報を発信するイベントに、職員を派遣し、二重ローン補助などの住宅再建支援制度や各種住宅施策等についての相談に対応しました。

7月

7月19日 県営住宅ストックマネジメントの推進

六丁目住宅団地物置取替工事に着手しました。また、柴田船迫住宅（3, 4号棟）外壁改修工事、太白住宅（1～4号棟）給水管改修工事など順次着手し、完成しました。

8月

8月29日 第2回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

10月29日 宮城県復興推進計画の認定

東日本大震災により住宅を失った被災者の災害公営住宅の入居の入居者資格要件の緩和（入居収入基準の緩和）及び譲渡処分要件の緩和（譲渡制限期間の短縮）を目的とした復興推進計画（公営住宅関係）が国に認定されました。 ※宮城県と県内全35市町村（共同申請）



9月

10月

11月21日 第3回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

11月

12月20日 県営住宅の災害復旧工事が完了

全壊被害のあった、県営名取手倉田第二住宅1号棟（30戸）の建替工事が完了しました。これで、県営住宅災害復旧工事の全てが完了しました。



12月

1月

1月10日 宮城県居住支援協議会を設立

“住宅セーフティネット法”に基づき、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅への円滑な入居促進及び賃貸住宅供給の促進など、必要な協議等を行う場として設立し、第1回会議を開催しました。



2月12日 第4回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

2月23日 「住まいまるごと応援フェア」を開催

東北財務局、宮城復興局、宮城県、関係市町などの主催による、住まづくりに関するセミナー、相談会等を名取市の住宅展示場で開催しました。（3月21日には仙台市の住宅展示場で開催）

2月

3月

住宅再建支援事業（二重ローン対策）の実施

被災された方々が自ら住宅を再建する際に生じる二重ローンの負担を軽減するため、既存住宅債務に係る5年間の利子相当額（上限50万円）を今年度は約200件補助しました。

営繕課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

12日 気仙沼地区南郷仮設職員寮 竣工



気仙沼市内の南郷地区及び九条地区に3棟の仮設職員寮を建築し、自治法派遣職員が入居しました。
・南郷地区 80戸
・九条地区 12戸

19日 農業高仮設実習棟 竣工



旧校舎は名取市の沿岸部にあり壊滅的な被害を受けましたが、内陸部の宮城県農業大学校敷地内に仮設実習棟が完成し、共用を開始しました。

31日 県運転免許センター 災害復旧完了

震災で被害を受けた庁舎棟、発着所棟、車庫棟の復旧が完了しました。



30日 農業高仮設農場管理棟 竣工



7月に完成した仮設実習棟につき、仮設農場管理棟が完成し、共用を開始しました。

28日 石巻港区県営大手上屋 竣工



石巻港の主要港湾施設である県営大手上1号～3号上屋は、震災で甚大な被害を受けましたが、解体し3棟を1棟に変更した形で新築され、工事が完了しました。

14日 塩釜港区県営中ふ頭1号上屋 竣工



塩釜港区の港湾施設である中ふ頭1号上屋は、震災で甚大な被害を受けましたが、解体・新築され、共用を開始しました。

5日 仙台港区県営中野1号上屋 竣工



仙台港区の港湾施設である中野1号上屋は、震災で甚大な被害を受けましたが、近隣に移転新築され、共用を開始しました。

27日 慶長使節船ミュージアム 竣工



被災したドック棟の大規模な復旧工事を終え、約2年8ヶ月ぶりに再館しました。

27日 塩釜港区県営西ふ頭1号上屋 竣工
塩釜港区県営中ふ頭2号上屋 竣工



塩釜港区の西ふ頭1号上屋と中ふ頭2号上屋が震災により甚大な被害を受けたため、解体、新築しました。

6日 多賀城地区緩衝緑地 災害復旧完了

中央ブロックの管理棟や東ブロックの便益施設などの復旧が完了しました。



20日 県庁舎・議会庁舎 災害復旧完了

県庁舎と議会庁舎は、地震により外壁タイルが落下する危険があったため、改修工事を行いました。



14日 岩沼海浜緑地 災害復旧完了

南ブロック管理棟や便益施設、北ブロックの野球場などの復旧工事が完了しました。復旧工事は、次年度以降も行われ、平成28年度に再開園の予定です。



設備課「平成25年度復旧・復興カレンダー」

12日 気仙沼地区南郷仮設職員寮 竣工



気仙沼市内の南郷地区及び九条地区に3棟の仮設職員寮を建築し、完成後すぐに自治法派遣職員が入居しました。
・南郷地区 80戸
・九条地区 12戸

19日 農業高仮設実習棟 竣工



津波により被災し、H23年9月から名取市高館の県農業・園芸総合研究所敷地内の仮設校舎で授業を行っていますが、同敷地内に仮設実習棟が完成しました。

3日 部門別専門研修(下水道部門)

津波で壊滅的な被害を受けた流域下水道施設を早期復旧するために行った具体的な方策や新たな津波対策などについて、実際の施設を訪れて体感してきました。



13日 農業高仮設農場管理棟 竣工



名取市高館地区の農場内に、園芸実験室、農業土木実験室などの実験室や更衣室を備えた管理棟が完成しました。
S造 2階建 1,251㎡

13日 設備講座(再生可能エネルギー)

国土交通省と環境生活部から講師を招き、自然エネルギーや再生可能エネルギーの公共施設への導入事例や課題について受講しました。



13日 仙台空港トンネル 本復旧完了



津波により被災したトンネル設備の復旧とともに、受変電設備等の更新が完了しました。
・トンネル内照明 146灯
・トンネル外照明 16灯
・ジェットファン φ1000×2基

16日 部門別専門研修(エネルギー部門)

再生可能エネルギーの導入等に向けた具体的な事例として、企業局太陽光発電事業施設を見学し、メガソーラーに関する知識等を学びました。



20日 設備講座(震災の教訓と復興への取り組み)

震災による設備被害状況とこれまでにやってきた復旧工事等から得られた教訓や課題、さらに、災害に強い宮城モデル構築に向けての新たな取り組み事例が紹介されました。



17日 古川工業高 給水設備 本復旧完了



天板パネルに亀裂が入ったFRP製の受水槽は、震災直後に応急復旧を行っていましたが、SUS製の受水槽に更新することにより、本復旧が完了しました。

5日 仙台港区中野1号県営上屋 竣工



仙台港区に新築した中野1号上屋は照明にLEDを採用し、節電に努める設計となっています。
S造 平家建 2,221㎡

31日 県運転免許センター 本復旧完了



建物が被災しながらも業務を続けていたため、多くの利用者が訪れる中での災害復旧工事となりましたが、安全確保に努めながら、無事に完成しました。

30日 仙台東高 昇降機 竣工



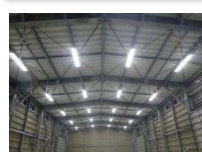
シャフト(昇降路)が傾くという被害を受け危険な状態であったため、シャフトとエレベーター本体を一時的に解体していましたが、本復旧(エレベーター新設)が完了しました。
・13人乗 車いす仕様

27日 慶長使節船ミュージアム 本復旧完了



被災したドック棟の大規模な復旧工事を終え、平成26年11月3日、約2年8ヶ月ぶりに開館しました。冬の風物詩として定着していた、復元船「サン・ファン・パウティスタ号」のライトアップも復活です。

30日 塩釜港区西ふ頭1号県営上屋 竣工



中野1号上屋と同様に塩釜港区の西ふ頭1号上屋についても、LED照明を採用しました。
S造 平家建 874㎡

6日 仙台港多賀城地区緩衝緑地 本復旧完了



中央ブロックの管理棟や東ブロックの便益施設などの復旧が完了しました。また、近隣住民から早期復旧が求められていた園内照明(外灯)も復旧しています。

14日 岩沼海浜緑地 復旧完了



南ブロックの管理棟や屋外便益施設、北ブロックの野球場などの復旧が完了しました。復旧工事は次年度以降も行われ、平成28年度に開園の予定です。

大河原土木事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

14日 白石川防災パネル展示



一目千本桜がちょうど満開となった白石川河川敷で東日本大震災防災パネルの展示を行いました

12日 6.12総合防災訓練



みやぎ県民防災の日に合わせ、大規模地震災害の発生に備えて、総合防災訓練を実施しました。

28日 国道113号館矢間バイパス全建賞受賞



平成24年5月31日に開通した国道113号館矢間バイパス整備事業が、全日本建設技術協会から全建賞(道路部門)表彰を受けました。

1日 9.1総合防災訓練(川崎町)



震災後ではじめての9.1総合防災訓練が川崎町で開催され、防災砂防課と共同で復旧・復興パネル展を出展しました。

20日 県道青根蔵王線災害復旧完了



平成23年の台風15号で被災し、通行止めとなっていた県道青根蔵王線の復旧工事が完了し、紅葉シーズンに開通できました。

16日 東日本大震災 災害復旧工事全て完了



東日本大震災で被災した207箇所の道路、河川、橋梁の災害復旧工事が、全て完了することができました。

15日 低気圧による豪雪対応



8日に続き15日の豪雪で、管内の道路で通行止めが発生しました。記録的な豪雪だったため除雪に約1週間を要しました。

26日 蔵王エコライン開通



3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコラインの冬期閉鎖が解除され、午前11時に開通しました。

27日 角田市砕石採取等に関する連絡会議



沿岸部へ土砂等を運搬するダンプが急激に増大したことから、地域住民の安全安心確保のため、角田市で関係者の連絡会議が開催されました。

9日 道路クリーンキャンペーン



「道路ふれあい月間」の取り組みとして、宮城県建設業協会仙南支部と協働で「道路クリーンキャンペーン」を実施しました。

6日 国道113号福岡蔵本道路改良事業説明会



平成24年度に着手した国道113号福岡蔵本道路改良事業について、事業説明会を開催しました。

8日 建設業協会仙南支部と意見交換会

入札不調や、資材の不足や高騰など建設業の取り巻く状況について、仙南支部の皆さんと意見交換会を行いました。

30日 県道岩沼蔵王線姥ヶ懐道路改良工事説明会



平成24年度に着手した県道岩沼蔵王線姥ヶ懐道路改良事業の計画について、工事説明会を開催しました。

5日 スマイルサポーターと意見交換会



スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

仙台土木事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

3日～5日「広瀬川で遊ぶ」を開催

親子で楽しめるイベントとアトラクションを通して、広瀬川への親しみと河川行政への理解の向上を目的として開催しました。約3,800名もの方に来場いただきました。



8日、29日 砂押川災害復旧事業に関する事業説明会開催

18日～20日 七北田川災害復旧事業に関する事業説明会開催

31日 大衡仙台線 小野工区開通式を開催



平成7年度より整備を進めてきた小野工区の未供用区間1.3kmが開通しました。今回の開通で大和町と仙台市内を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。

9日 七ヶ浜町・塩釜市との発生土利用に関する協定を締結



「花洲浜笹山地区防災集団移転促進事業（七ヶ浜町）」により発生する建設発生土約4万㎡を、「浦戸地区復興事業（塩釜市）」で利用するための協定に調印しました。

11日【復興】高城川に関する事業説明会を開催

20日【復興】山下停車場線に関する事業説明会を開催

26日 松ヶ浜海岸災害復旧工事に関する事業説明会を開催

21日 桜植樹祭を開催



小林製薬(株)様と県主催で「第2回桜の植樹祭」が岩沼海岸緑地南ブロックで行われました。貞山運河周辺への桜植樹は、今後も継続的に行われる予定です。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

13日【復興】東玉川歩道設置事業に関する事業説明会開催

17日 菖蒲田地区海岸災害復旧工事安全祈願祭開催

七ヶ浜町菖蒲田海岸において災害復旧工事に着手しました。
・天端高TP6.8m
(震災前計画5.0m)
(一部区間完成:
平成26年2月6日)



30日 震災復興に伴う盛り土材連絡調整会議（仙台地区市町連絡調整会議）を開催

盛り土材の使用見込み量や、利用調整のための方策の1つである土砂ストック場所などについて、関係機関で情報を共有しました。



5日【復興】相馬亘理線に関する事業説明会を開催

24日【復興】相馬亘理線(亘理町分)に関する事業説明会を開催

6日【復興】松島橋架け替えに関する事業説明会を開催

17日 仙石線多賀城地区連続立体交差事業整備完了記念式典を開催



平成16年度より進めてきた事業について、多賀城駅付近約1.8km区間の鉄道の高架化、駅舎部を含む施設整備が完了し共用を開始しました。

13日【復興】荒浜港今泉線(鳥の海工区)に関する事業説明会を開催

19日 花洲浜海岸災害復旧工事に関する事業説明会を開催

25日 (都)駅前大通線(亘理町)開通



亘理駅西口駅前広場から国道6号に至る路線(全体延長1,125m)が開通しました。駅利用者や通行車両等の利便性や安全性が向上するとともに、市街地の混雑緩和など、生活環境の改善が図られます。

北部土木事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

8～9日 建設企業委員会県内調査



管内の主要事業である国道347号外2箇所の工事現場を10名の建設企業委員会委員の皆様による現地調査が行われました。

8日 第28回仙山カレッジ -国道347号通年通行へ-

「鍋越峠が変わるー国道347号通年通行へー」をテーマに宮城、山形の県境を越えた連携、交流について意見を交わしました。



5日 仙台三本木線混内山工区 供用開始



県道仙台三本木線の終点部で国道4号と接続する部分となる「混内山工区」が暫定供用を開始しました。

31日 木間塚コラボ事業検討会開催



県道鳴瀬南郷線の木間塚地区において通学路の安全な歩行空間を確保するため地域住民の皆様と検討を行いました。

31日 花淵山BP2号トンネル工事安全祈願祭

国道108号における花淵山2号トンネル工事開始に伴い、安全祈願祭が行われました。2号トンネルは全長1,194mで4号トンネルに次いで2番目の長さとなっています。



28日 スマイルロード・サポーターへ認定証交付



県が管理する道路の清掃・緑化及び除草等の活動にご協力いただく2団体に対し、「スマイルサポーターの認定証」が所長より交付されました。

20日 国道347号山形県議会現地調査



通年通行化を目指し整備を進めている国道347号の工事現場を山形県議会建設常任委員会の皆様が視察されました。

29日～ 重要水防箇所合同巡視

国が管理する河川の重要水防箇所について国土交通省、水防団、関係市町及び県が合同で出水期前の点検を行いました。



12日 6.12総合防災訓練



みやぎ県民防災の日に職員24名と管理委託業者及び測量設計業協会が参加し、情報伝達訓練を実施しました。

16日 深川樋門操作合同研修会

鳴瀬川水系深川に設置されている深川樋門の操作研修会を実施し、豪雨災害に対する危機管理体制の強化を図りました。



6日 仙台三本木線混内山工区全面供用



7月に暫定供用開始された県道仙台三本木線の国道4号との交差点部分が完了し、全面供用されました。これにより大崎圏域と仙台圏域を結ぶ重要な路線がより安全に通行できるようになりました。

25日 出来川(名鑓越流堤)災害関連工事完了

H24年5月の大雨で破堤した出来川名鑓越流堤は、H24年度に復旧工事に着手し、H26年3月に復旧工事が完了しました。



北部土木事務所栗原地域事務所

「平成25年度復旧・復興カレンダー」

26日 冬期通行止め開通式



国道398号、主要地方道築館栗駒公園線及び一般県道岩入一迫線の冬期閉鎖区間を開通しました。国道398号では宮城県栗原市と秋田県湯沢市の共催による開通式が開催されました。

14日 岩手・宮城内陸地震発生から5年

平成20年6月14日「岩手・宮城内陸地震」の発生から5年が経過しました。駒の湯温泉付近の耕英東地区砂防激特事業が実施中でした。



30日 国道398号スノーシェッド(上部工)完成



国道398号花山本沢岳山のスノーシェッド(上部工)をL=10.5m延伸しました。

29日 透川橋災害復旧工事完了

主要地方道古川沼線の透川橋災害復旧工事が完了しました。この工事の完了により東日本大震災に伴う管内全ての復旧事業が完了しました。



10日 国道398号 交通安全施設整備事業 宮前工区完成供用開始

国道398号一迫宮前地区において交通安全施設整備事業として実施していたバイパス工事が完成し開通式が実施され、供用を開始しました。



21日～25日 第2次災害査定

7月26日～28日の低気圧による豪雨被災箇所の第2次災害査定を実施しました。申請件数15件。

8日 主要地方道河南築館線 萩沢土橋地区

交通安全施設整備事業説明会

主要地方道河南築館線築館萩沢土橋地区の交通安全施設整備事業の用地説明会を実施しました。

12日 耕英東地区砂防激特事業完成式



耕英東地区で実施していた砂防激特事業の完成式を行いました。この事業の完了により、岩手・宮城内陸地震に伴う県土木部が実施する全ての復旧事業が完了しました。

18日 主要地方道中田栗駒線 岩ヶ崎地区

道路改良事業説明会

主要地方道中田栗駒線栗駒岩ヶ崎地区の道路改良事業の事業説明会を実施しました。

19日 みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間事業説明会

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間の事業説明会を実施しました。

18日 第2回合同安全パトロール

栗原管内における建設工事現場について、本年度2回目の発注者等の合同パトロールを実施しました。

28日 主要地方道河南築館線 道路改良事業

清水沢工区供用開始



主要地方道河南築館線瀬峰清水沢工区の道路改良工事(L=2,000m)が完成しました。

30日～6月7日 二迫川改修工事説明会

二迫川の改修工事について工事説明会を実施しました。

12日 6.12総合防災訓練

みやぎ県民防災の日に合わせて、職員22名によるシナリオブラインド型ロールプレイング方式による総合防災訓練を実施しました。



26～28日 低気圧による豪雨災害 (照越川、太田川の決壊等)



寒気を伴った低気圧の影響で栗原市では激しい降雨に見舞われました。特に、築館地区は26日午後1時～5時までの4時間に146mmの降雨を観測しました。

9日 道路ふれあい月間クリーンキャンペーン

道路ふれあい月間おけるクリーンキャンペーンを実施しました。管内業者とともに道路の清掃と啓蒙チラシを配付しました。



26日 第1回合同安全パトロール

栗原管内における建設工事現場について、発注者等の合同パトロールを実施しました。

30日～10月4日 第1次災害査定

7月26日～28日の低気圧による豪雨被災箇所の第1次災害査定を実施しました。申請件数20件。

10日 土石流災害現場における自然林再生植樹会



岩手・宮城内陸地震の土砂災害により森林が失われた耕英東地区において自然林再生植樹会を実施しました。できるだけ手を掛けない「生態学的混播・混植法」により実施しました。

23日 くりこま絆の森植樹プロジェクト植樹会

岩手・宮城内陸地震で被災した駒の湯温泉跡地付近において地元住民等で組織するくりこま絆の森植樹プロジェクトチームによる植樹会を実施しました。



14日 二迫川改修工事用地説明会

二迫川改修工事の用地説明会を実施しました。

19日 主要地方道中田栗駒線 道路改良事業

福岡工区供用区間延長

主要地方道中田栗駒線若柳福岡工区のバイパス工事ではこれまで全長3.2kmのうち1.6kmを供用していましたが、さらに供用区間を1km延伸しました。残りの0.6km区間は来年度供用予定です。



24日 主要地方道河南築館線 萩沢土橋地区

交通安全施設整備事業用地説明会

主要地方道河南築館線築館萩沢土橋地区の交通安全施設整備事業の用地説明会を実施しました。

7日 都市計画街路源光町田線 道路改築事業

内沢工区供用開始



都市計画街路源光町田線築館内沢工区の道路改築工事(L=610m)が完成しました。

東部土木事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

9日, 10日 高木川災害復旧事業石崎橋架替事業

に関する事業説明会
9日, 13日, 17日 管内市町との災害復旧・復興
連絡調整会議



復旧・復興事業を推進する
ための情報共有と事業調
整を行うため、管内市町と災
害復旧・復興連絡調整会議
を開催しました。

12日 県議会建設企業委員会が管内の復旧状況を視察



県議会建設企業委員会が
石巻市と東松島市の復旧・
復興事業の視察を行いました。

3日 (市) 屋敷浜猪落線((主)石巻鮎川線風越Ⅱ工区開

通)に関する事業説明会
17日 東部管内建設資材及び盛土材連絡調整会議

25日 (国)398号石巻バイパス事業
に関する事業・用地説明会

1日 (主)女川牡鹿線小乗浜工区復興道路事業
に関する事業説明会

9日 行政職員向け自然体験研修と災害訓練



東部管内の県・市・町の職員を集
めて自然体験研修と災害訓練を行
いました。NPO法人ひたかみ水の
里の新井代表等から、自然活動の
理念の講義、カヌー体験・救助訓
練等の実技の指導をしていただき
ました。

1日 コバルトライン(県道牡鹿半島公園線)の
一部区間(小積跨道橋～大原跨道橋)が通行可能

6日 管内の安全管理研修会の開催

8日 古川工業高校の現場見学会



古川工業高校の土木情報科
の1年生～3年生の約120人が、
東部土木事務所の現場を見学し
ました。

4日 八津川際涯復旧事業に関する説明会

5日 石巻広域都市計画道路の都市計画変更
に関する説明会

12日 鮫浦・大谷川浜地区(復興道路・海岸災)
に関する事業説明会

12日 (主)奥松島松島公園線宮戸工区復興道路事業
に関する説明会

17日 (主)奥松島松島公園線州崎工区復興道路事業
に関する説明会

18日 長浜海岸災害復旧事業に関する
共有地相続説明会

19日 (一)大塩小野停車場線上小松道路改良事業
に関する説明会

24日, 25日 (主)女川牡鹿線谷川浜工区復興道路事業
に関する説明会

24日 折立海岸災害復旧工事の完成

2月24日に折立海岸災害復旧
工事が完了しました。



14日 大原浜・給分浜地区(復興道路・道路災・海岸災)
に関する事業説明会

16日 十八浜地区(復興道路・道路災・河川災)
に関する事業説明会

18日, 24日 (都)矢本大曲線復興道路事業

に関する事業説明会

14日, 16日 内海橋災害復旧事業に関する事業説明会

15日, 21日 「道路橋の耐震設計」の職場研修

加藤副所長が講師となり、
「道路橋の耐震設計」について、
職場研修を行いました。



31日 富士川災害復旧事業に関する工事説明会

26日 湊川災害復旧事業に関する事業説明会

28日 加茂川災害復旧事業に関する用地説明会

29日 (都)門脇流留線復興道路事業
に関する事業説明会

30日 (国)398号相川工区復興道路事業
に関する事業説明会

5日, 6日, 7日, 25日 【復興】(都)門脇流留線
復興道路事業に関する事業説明会

7月29日(月)、8月5日(月)、
6日(火)、7日(水)、25日(日)
の五日間をかけて、高盛土道路
の(都)門脇流留線の旧北上川右
岸側の説明会を開催しました。

12日 (都)大街道石巻港線復興道路事業
に関する事業説明会

27日 (国)398号湊工区復興道路事業
に関する事業説明会

21日, 22日 (都)矢本大曲線矢本工区
復興道路事業に関する事業説明会

23日, 24日 (都)矢本大曲線大曲工区
復興道路事業に関する事業説明会

19日, 22日 追波川災害復旧事業
に関する工事説明会

19日 (主)女川牡鹿線高白工区道路改良事業
に関する説明会

26日 (国)398号御前浜工区復興道路事業
に関する説明会

27日 (主)石巻河北線南境歩道設置事業
に関する説明会

30日 湊川災害復旧事業に関する説明会

19日 東部管内建設資材及び盛土材連絡調整会議
管内2市1町で、復旧・復興事業
を行っている国、県及び市町の
関係機関が集まり、平成25年
度第2回東部地区建設資材及
び盛土材連絡調整会議を開催し
ました。

15日 北上運河河川災害復旧工事に関する安全祈願祭

北上運河河川災害復旧工事(その
1)(その2)の安全祈願祭を行
いました。安全祈願祭には、施工
者の他、久保田県土木部次長ら約
50名の関係者が出席しました。

25日 加茂川河川改修事業に関する工事説明会

17日 清水田浜地区(復興道路・道路災・海岸災)
に関する事業説明会

25日 東名運河災害復旧事業に関する事業経過説明会



東部土木事務所登米地域事務所 「平成25年度復旧・復興カレンダー」

18日 長沼ダム試験湛水終了



年 月 日	貯水位 (K.P.)	摘 要
平成25年 11月 1日	8.70 m	試験湛水（貯水位上昇）開始。
27日	9.20 m	長沼ポート場の冠水開始。
平成26年 1月 1日	10.65 m	貯水位上昇の進捗率が50%に到達。
2月 23日	12.60 m	洪水時最高水位に到達。
25日		ダムから放流（貯水位低下）開始。
3月 18日	6.50 m	最低水位に到達。試験湛水終了。

長沼ダム本体や放流施設、貯水池周辺などに問題がないか、11月1日から試験湛水を開始し、3月18日に無事終了しました。



長沼ダムから放流するため砂原水門を開扉しているところです。

みやぎ県北高速幹線道路事業説明会
9日中田工区 30日佐沼工区 開催

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月



みやぎ県北高速幹線道路の事業説明会を開催し、東北自動車道と三陸自動車道を結ぶ地域高規格道路【復興支援道路】の早期完成に向け事業を加速します。

29日 主要地方道 涌谷津山線
登米市豊里町下屋浦工区供用開始



登米市豊里町中心市街地のJR気仙沼線アンダーボックス付近は、道路線形が悪く狭隘であったことから、跨線橋を含む900m区間の道路改良工事を実施し、3月29日に供用開始しました。

気仙沼土木事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

12月 大島地区生コンクリート工場竣工式の開催



気仙沼地生コンクリート協同組合の大島地区生コンクリート工場の竣工式が開催されました。4月18日から本格供給が可能となり、悪天候によるフェリー運休による供給が滞る事が無くなり、大島地区の復旧・復興のスピードアップが期待されます。

16日 気仙沼市防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業造成工事着工式の開催



気仙沼市で最初となる防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業工事の着工式が、東舞根地区で開催されました。

28日 気仙沼市鹿折地区、南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の着工式の開催



南気仙沼地区着工式



盛土開始状況

22日 国道346号本吉バイパス橋梁命名者記念品贈呈式を開催

津谷川に横架かる橋梁の橋名について、気仙沼市と協働で公募し、「桜子大橋」に決定し、応募頂いた方への記念品贈呈式を開催しました。



13日 気仙沼港-4.5m岸壁 災害復旧工事の完了



災害復旧を進めていた朝日地区の岸壁について、11月迄に-4.5m岸壁が完了し、供用しました。引き続き隣接する-7.5m岸壁の復旧を進めて行きます。

4月

18日 弘川ダム竣工式を開催



平成24年11月から試験湛水を実施していた弘川ダムは、4月7日にサーチャージ水位(洪水時最高水位)を超え、その後、常時満水位(常時最高貯水位)に降下させ、ダム本体の安全を確認し、竣工の運びとなり竣工式を開催しました。

5月

6月

12日 歌津地区生コンクリート工場竣工式の開催



気仙沼地生コンクリート協同組合の歌津地区生コンクリート工場が大島地区工場に引き続き、完成し竣工式が開催されました。

7月

8月

16日 南三陸町志津川地区復興まちづくり事業着工式の開催



志津川東地区着工式



町長の合図により掘削開始

志津川東部地区において、まちづくり事業着工式が開催され、「復興の槌音」が聞かれました。今後一日も早い工事完成を図り、安全な住環境・空間が形成されます。

9月

10月

27日 気仙沼大川桜並木お別れ会の開催



壊滅的な被害をうけ、来春には伐採が予定されている大川桜並木のお別れ会が、気仙沼大川桜並木を保存する会の主催で開催されました。

11月

21日 南三陸町藤浜団地竣工式の開催



戸倉地区の藤浜団地は、1ヘクタール10区画に住宅地、集会所が建設される予定で、今年度末を目処に土地が引き渡され、住宅建築が開始されます。

12月

**24日 大島架橋建設事業（仮称）二ノ浜1号トンネル
貫通式を開催**



10月から掘削を開始していた同トンネルにおいて貫通式を開催し、無事の貫通を祝いました。

**17日 大島架橋建設事業（仮称）二ノ浜2号トンネル
の貫通**



（仮称）二ノ浜1号トンネルに引き続き掘削を開始していた同トンネルが貫通し、工事発注者及び工事請負者等の工事関係者により、現地で無事の貫通を祝いました。

26日 東舞根復興道路整備事業着工式を開催



「東舞根道路」は、東日本大震災で甚大な被害を受けた東舞根地区で進められている防災集団移転地（舞根1地区、舞根2地区）へのアクセス道路として計画し、本県三陸沿岸部における復興交付金道路事業としては初の着工となりました。

1月

2月

3月

3日 藤浜・栃浜地区海岸災害復旧工事の完成



沈下した離岸堤、突堤の復旧工事が完了しました。海岸施設の復旧完了は当管内で第1号となりました。

10日 “津波波来の地”の石碑を設置



東日本大震災による未曾有の大津波を、後世に伝え減災に繋げるため、「3.11伝承・減災プロジェクト」との一環として、津波到達点に“津波波来の地”の石碑を9箇所に設置しました。

**28日 気仙沼市登米沢地区防災集団移転
促進事業造成工事が竣工**



気仙沼市内38地区で進められている防災集団移転促進事業の造成完了第1号として、登米沢地区で竣工式が行われました。

仙台塩釜港湾事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

(仙台港区)

向洋海浜公園 供用開始

震災により利用できなくなっていました
が、復旧工事が完了しました。サーフィン
の適地としても知られています。



(仙台港区) 大型客船

コスタビクトリア号寄港

初めての寄港で記念式典を開
催。総トン数75,000トン、乗
客数2,000人



(仙台港区) 国際定期コンテナ航路
韓国航路が中国まで延伸



H24.3.31に、韓国航路として再
開されておりました定期航路が
中国まで延伸されました。

(仙台港区)

中野上屋復旧工事成

震災で被災し全面改築して
復旧工事が完了しました。



(仙台港区) 大型客船

ぱしふいっくびいなす寄港 コスタビクトリア号寄港 飛鳥Ⅱ寄港



(仙台港区)

港湾保安総合訓練実施

国際埠頭での緊急事態時の
関係機関の連携や対応の確
認と対応能力の向上のため
に実施しました。



(松島港区)

松島公園津波防災緑地調整会議

松島公園の土地利用と防潮
堤との調整を行いました。

(松島港区) 導流堤
復旧工事状況



(仙台港区) 雷神護岸
復旧工事状況



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

(塩釜港区)

東宮浜物揚場復旧工事完了

塩釜港区復旧工事完了第1
号となりました。



(塩釜港区)

貞山2号岸壁復旧工事事完了

取扱貨物量が増大してきて
おり、早速利用が始まりまし
た。



(塩釜港区) 西ふ頭上屋復旧工事完了

(塩釜港区) 中ふ頭2号上屋復旧工事完了

被災しましたが、全面
改築し復旧しました。



(七ヶ浜町, s塩竈市、仙台土木、仙塩港湾)

復興事業発生残土の有効活用の協定締結



復興事業等で発生した建設
発生土の有効活用を目的と
して七ヶ浜町、塩竈市、仙台
土木、仙塩港湾で協定を締結
しました。

(塩釜港区)

貞山ふ頭復旧工事状況



(塩釜港区)

中ふ頭復旧工事状況



(塩釜港区)

貞山ふ頭復旧工事状況



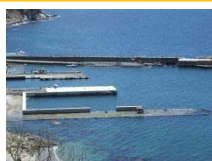
(塩釜港区) 中ふ頭1号上屋復旧工事完了

津波被災を受け使用不
能になっていましたが、
全面改築し復旧しまし
た。



石巻港湾事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

1日 金華山港2号物揚場部分供用開始



金華山港2号物揚場が完成し供用を開始した。それに伴い金華山定期航路が復活しGWは多くの参拝客で賑わった。

22日 雲雀野防波堤災害復旧工事完了



震災により約1mの沈下が発生した雲雀野防波堤の嵩上げ復旧が完了しました。

9日 女川港石浜地区ー7.5m岸壁一部供用開始



女川港石浜地区ー7.5m岸壁の一部が完成し供用が開始しました。

9日 大型客船「オーシャンドリーム」入港

石巻港初となる外国籍客船「オーシャンドリーム」が入港しました。

15日 パナマックス船初入港

パナマックス級バルク貨物船が初入港しました。



19日 潮見1,000t岸壁完成



潮見埠頭1,000t岸壁が完成し、供用を開始しました。

25日 中島15,000t岸壁完成



中島埠頭15,000t岸壁が完成し、供用を開始しました。

23日 南浜埠頭荷捌き地部分供用開始

9日 大型客船「ふじ」入港



大型客船の「ふじ」が中島埠頭に寄港しました。

30日 砕氷艦「しらせ」入港



震災後初となる港湾感謝祭の開催に合わせ砕氷艦「しらせ」が寄港し一般公開されました。

10日 大型客船「ぱしふいっくびいなす」入港

大型客船「ぱしふいっくびいなす」が寄港し、ウェルカムフェスタを開催しました。

29日 石巻港保安総合訓練を実施

石巻港で不審船・不審者が発見されるといふシナリオで海上保安庁と合同で保安総合訓練を実施しました。

11日 第2回防災訓練を実施



第2回防災訓練を現場企業(21業者)と併せて行った。訓練では平日の災害を想定し、東部下水道事務所への事務所移転機能を併せて行った。

29日 日和岸壁完成

4日 南浜10,000t岸壁完成



南浜10,000t岸壁が完成し、供用を開始しました。

25日 大手埠頭完成



大手埠頭が完成し、供用を開始しました。

中南部下水道事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

4月15日：震災復興祈願桜植樹祭の桜開花

3月23日に開催した『県南浄化センター震災復興祈願桜植樹祭』で植樹した100本の大島桜が開花しました。



6月6日：アメリカ土木学会来所（県南浄化センター）

アメリカ土木学会（ライフライン地震工学会）会員が、被災・地盤沈下後の下水道インフラに対する復旧状況全般について情報を収集するために、県南浄化センターを訪れました。



10月25日：緊急放流バイパス管接続訓練（仙塩浄化センター）

台風接近に伴う流入量増加の非常事態（一次放流）に備え、職員と指定管理者合同で緊急放流バイパス管接続訓練を行いました。



3月4日：みやぎ甕水コンソーシアム結成式

平成26年度から仙塩流域下水道施設及び鳴瀬川流域・吉田川流域下水道施設の指定管理者となるみやぎ流域下水道施設管理運営共同事業体（みやぎ甕水コンソーシアム）の結成式が行われました。

4月23日：下水汚泥燃料化物製造開始（県南浄化センター）

震災により破損し運転停止していた下水汚泥燃料化物製造施設が3月に復旧、4月17日から運転開始、同23日から製造を再開しました。



下水道ふれあいイベント開催

9月10日の「下水道の日」に合わせ、各浄化センターにおいて下水道ふれあいイベントが開催されました。合計で2,700人を超えるお客様の来場がありました。

9月7日：県南浄化センター

9月8日：大和浄化センター

9月21日：仙塩浄化センター



3月11日：防災訓練（仙塩浄化センター）

東日本大震災同規模の地震と津波が発生したと想定し、職員と指定管理者合同で避難及び情報収集訓練並びに初動対応訓練を行いました。



東部下水道事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

20日 石巻浄化センター 水処理施設2系列増設(土木)工事完成

水処理施設2系列増設工事の土木工事(躯体、導水管)が完成しました。設備工事、覆蓋工事が完成後、供用開始する予定です。これにより、水処理量が増大し、被災地域の復興を推進するものとなります。



2日 「第4回流域下水道まつり」を開催

石巻浄化センターを会場に第4回流域下水道まつりが開催されました。多くのイベントや模擬店により、多数の来場者で大盛況となりました。また、災害復興パネル展示を行い、復興状況の周知に努めました。



19日 石巻浄化センター水処理施設2系列設備工事完成

水処理施設2系列増設工事に伴い、1/2系列の機械、電気工事が完成しました。来年度覆蓋工事を実施後、供用開始する予定です。これにより、水処理量が増大し、被災地域の復興を推進するものとなります。



1日 石巻東部浄化センター 土木・建築施設供用開始

土木・建築工事が平成25年3月に完成したことに伴い、処理場の建築施設、場内施設の使用を開始しました。これにより、処理場の外観が震災前と同様の姿となりました。



31日 災害記録誌「復旧への軌跡」を発刊

地震発災からこれまでの3年間について、東部下水道事務所における復旧のあゆみをまとめた記録誌を作成しました。震災直後の応急対応等を掲載し、今後の対策に生かされる資料となりました。



28日 JICA下水道研修生が石巻東部浄化センターを来訪

石巻東部浄化センターにJICA「下水道・都市排水」コース施設見学で海外15カ国22名の技術者の方々が来訪されました。被災説明や施設見学を行い、復旧内容を理解していただき、各国技術者との友好をはかりました。



26日 石巻東部浄化センター下水道施設災害復旧完了

2系列の水処理施設が完成しました。処理場の全施設が復旧し、震災前と同様の水処理施設が復元されました。これにより、東部下水道事務所の災害復旧事業が全て完了しました。



仙台地方ダム総合事務所

「平成25年度復旧・復興カレンダー」

11日 大倉ダム非常用バルブ操作演習を実施

大倉ダムでは通常、貯留した水を東北電力大倉発電所に送水し、発電用水として利用した後、大倉川に放流していますが、発電停止時に放流するための非常用放流バルブの操作についての演習を実施しました。

25日 ダム管理演習を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時におけるダムの状況について関係機関への通知、下流住民への放流警報等、情報伝達の演習を行いました。

12日 図上訓練を実施

平成23年東北地方太平洋沖地震と同じレベルの地震及び津波を想定し、発災時における初動対応を確認しました。
シナリオブラインド型ロールプレイング法による情報収集・伝達等の確認をしました。

16日 水防技術講習会を受講



洪水などで河川堤防が洗掘・漏水した場合の対策である、積み土の工法、月の輪工法、木流し工法の設置技術を学びました。

30日 オイルフェンス設置訓練に参加



ダム湖等で油流し事故が発生した場合の、迅速な拡散防止、回収に努めるため、オイルフェンス設置訓練に参加しました。

25日 ダム定期検査

ダムの管理体制・管理状況、施設設備の状況等について、各ダムが3年に1度受検することとなっています。平成25年度は南川ダム及び宮床ダムについて定期検査を受検しました。



18日 川内沢川河川整備懇談会を開催

平成25年7月の国土交通省の有識者会議において川内沢ダムの『事業継続』との方針が決定されました。それを受けて、川内沢ダム建設事業の今後の進め方等について建設予定地地区住民の皆様へ説明しました。

各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0mまたは0.5m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っております。平成23年5月から引き続き実施しており、大倉ダムを除く5ダムで平成25年度も実施しました。

23日 南川ダム湖畔公園等清掃活動を実施



仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの一環として開催される「七ツ森湖畔公園花まつり」の前に関係機関と協働で南川ダム周辺の手入れ清掃活動を実施しました。

26日 大倉ダム清掃活動を実施

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに合わせて、全国から本県を訪れる観光客が気持ちよく観光できるよう、国道48号線～定義如来間の大倉ダム湖周辺や県道・市道における清掃美化活動を関係団体と協働して実施しました。



11日 樽水ダム清掃活動を実施



樽水ダムは名取市上水道の水源となっていることから、安心・安全で良質な水を提供するとともに、水源地環境保全の意識向上のために樽水ダム湖周辺全体の清掃活動を関係団体と協働して実施しました。

18日 森と湖に親しむ旬間

森林、ダムや河川等への関心・理解を深めてもらうために定められた「森と湖に親しむ旬間」の一環として、仙台市立大倉小学校の児童たちと、ダム湖周辺の自然に親しむためのイベントを実施しました。



1日 水資源功績者表彰

大倉ダムの環境美化活動を50年間実施した功績により、「平成25年度水資源功績者」として仙台市立大倉小学校が太田国土交通大臣より表彰されました。



27日 大倉ダム清掃活動を実施

仙台市立大倉小学校児童及び各利水関係機関・地元町内会等による、「大倉ダム湖周辺清掃」が実施されました。



1日 みやぎダムめぐりカードを更新



ダムマニアの間ではひそかに人気となっているダムめぐりカードですが、このたび管理する6ダム(大倉・樽水・七北田・南川・宮床・惣の関)のダムめぐりカードの写真及びレイアウトを更新しました。

各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計48団体、2,913名がダム見学会に訪れました。



宮城県大崎地方ダム総合事務所

「平成25年度 復旧・復興 カレンダー」

25 日 洪水対応演習



23日 「筒砂子ダム建設事業」及び「鳴瀬川総合開発事業」の検証に係る検討の対応方針が決定

* 国の鳴瀬川総合開発を継続することとし、筒砂子ダムを建設する。
* 県が事業主体となる筒砂子ダム建設事業は、中止。

29日 平成25年度 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長賞受賞

* 平成18年度から小中学生と一緒に取り組んでいる、漆沢ダムの流木炭化作業(炭窯くろすけ)について、長年の功績が評価されまして、上記、右記表彰を受賞しました。

なお、今回の受賞は、地元の炭焼き名人、歴代の大崎地方ダム総合事務所職員及び長年携わった大勢の方々のご尽力とご協力の賜と感謝申し上げます。

4月



5月

6月

6/18, 7/9, 10/9, 10/22
漆沢ダム 炭焼き活動(年4回)

7月

21日
第20回 水と森と風のくに祭り

8月



9月

10月

1日 災害査定(雷災害)

11月



故障した
観測装置



落雷証明書

12月

1月

20日 土木部 部長表彰

2月

3月



栗原地方ダム総合事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

7日 荒砥沢ダム試験湛水常時満水位到達



岩手宮城内陸地震の災害復旧工事が完了したことから再湛水を開始し未経験水位(EL266m)から常時満水位(EL274.4m)の範囲内で貯水位を上昇及び下降させダム、貯水池周辺の挙動観測を実施しました。

25日 洪水対応演習(ダム)の開催

梅雨、台風等による出水期を迎えるにあたり、ダム放流時の危害防止の措置(関係機関への通知、放流警報等の一般への周知)及びダムの洪水調節操作を的確に行うための演習を実施しました。



警報所からの放送・サイレン吹鳴



ただし書き操作確認に関する打合

12日 6.12総合防災訓練の実施

東日本大震災と同レベルの地震及び津波を想定し、シナリオ「ブライント」型ロールプレイング方式により訓練を実施した。



7日 花山湖清掃活動

スマイルサポーターとなっている花山漁業協同組合、栗原市花山総合支所の皆さんと合同で早朝5:30から花山湖周辺の清掃活動を行いました。今年度で6回目となります。



4月

13日 ダム情報伝達連絡会の開催

異常気象時及び災害時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を確保するため情報連絡会を開催し、各ダムから発信される情報内容について確認しました。



5月

10日 花山ダム見学会の開催

山元町立山下中学校1年生92名が社会見学活動の一環として花山ダムの施設見学会が開催されました。



6月

7・10日 荒砥沢ダム見学会の開催



7日に登米市中田支部婦人防火クラブの22名の方が防災教育の一環として岩手・宮城内陸地震による被災状況と状況を学習のため見学会を開催しました。



10日に東京大学地震研究所特定共同研究会会の12名の方が荒砥沢ダムに設置している地震計(右岸地山・監査廊基礎部)を見学しました。

8月

9月

14日 小田ダム見学会の開催

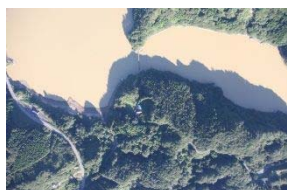
迫川上流土地改良区が主体となり、「伊豆野堰まつり」が開催され、その一環として小田ダムの見学が行われました。地域の小学生・保護者約90名が参加しました。



栗原地方ダム総合事務所「平成25年度復旧・復興カレンダー」

16日 台風18号による洪水調節

9月16日に東北地方を北上した台風18号の影響により、花山ダムで88mmの降雨を観測した。最大流入量は348m³/sを観測し洪水調節を行った。花山ダムには、上流河川の急激な上昇により大量の流木がダム湖へ漂着したため、流木災害(国災)として除去した。また、大量の土砂が流入したことにより、濁水状態が約1ヶ月間続いた。



30日 フランス大ダム会議メンバー 荒砥沢ダム視察

フランス国内の安全基準が強化され、ダムの安全性を下流域の住民に説明するため、フランスでは地震の実測記録がないことから日本のダムの地震挙動を基に両国で解析を行い、安全性の向上やダム技術の向上を図る一環として現地視察を行いました。



19日 職場研修

今年度の研修・講習会等を受講した職員から内容の報告会を実施しました。

26日 荒砥沢ダム技術検討委員会

第二次安全確認が終了したことから、計測機器の挙動評価を東京でダム技術検討委員会に諮り、報告の内容について委員長から支持を得ました。



9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

13日 花山湖秋まつりに参加

花山ダム湖畔において「花山湖秋まつり」が開催されました。今回で26回目の開催です。事務所も会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネルの展示やダム洪水シミュレーション模型を使用しダムのPRに務めました。



ブース設置状況



ダム洪水シミュレーション模型

27日 ダム定期検査

ダムの維持、操作その他の管理状況について、3年に1回以上の周期で受験しなければならないことがダム検査規程に定められており、今年度は荒砥沢ダムについて実施した。



9日 荒砥沢ダム災害復旧(第2次安全確認)に係る完成検査



第二次安全確認が終了したことから、東北地方整備局による災害復旧に係る完成検査を実施し完成を認められました。

15日 荒砥沢ダム見学会の開催

岩手県農村振興技術連盟(一関ブロック)の12名の方が岩手・宮城内陸地震の際の被災状況、その後の復旧内容の状況等を部)を見学しました。



仙台港背後地土地地区画整理事務所 「平成25年度復旧・復興カレンダー」

20日 工業地区における街路災害復旧工事が完成

工業地区における災害復旧工事が完成



着工前

完成

20日 保留地の復旧工事が完成



完成

28日 「(一社) 建設コンサルタンツ協会 設立50周年記念植樹式」へ出席

一般社団法人建設コンサルタンツ協会設立50周年記念植樹式が仙台港背後地事業地内の1号公園において執り行われました。



23日 工業地区における下水道災害復旧工事が完成



着工前

完成

26日 流通業務地区における街路災害復旧工事が完成



着工前

完成

31日 流通業務・センター地区における街路災害復旧工事が完成

地区内の全工区における災害復旧工事が完成



着工前

完成

22日 出来形確認測量業務が完了



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月